



日本国特許庁
JAPAN PATENT OFFICE

JC580 U.S. P70
10/016885
12/14/01

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office:

出願年月日 Date of Application: 2000年12月18日

出願番号 Application Number: 特願 2000-383749

[ST.10/C]: [J P 2 0 0 0 - 3 8 3 7 4 9]

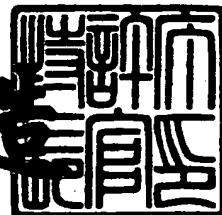
出願人
Applicant(s): 日本放送協会

**CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT**

2002年 2月 1日

特許庁長官
Commissioner,
Japan Patent Office

及川耕



出証番号 出証特2002-3003681

【書類名】 特許願

【整理番号】 NHK-489

【提出日】 平成12年12月18日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 17/60

【発明の名称】 コンテンツ提供システム及び方法、コンテンツ情報登録システム及び方法、コンテンツ情報登録課金システム及び方法、コンテンツ選択ユーザインターフェース、利用者端末、コンテンツ情報データベース、コンテンツ選択処理装置及び登録課金処理装置

【請求項の数】 18

【発明者】

【住所又は居所】 東京都世田谷区砧一丁目10番11号 日本放送協会放送技術研究所内

【氏名】 中川 俊夫

【発明者】

【住所又は居所】 東京都世田谷区砧一丁目10番11号 日本放送協会放送技術研究所内

【氏名】 青木 勝典

【発明者】

【住所又は居所】 東京都世田谷区砧一丁目10番11号 日本放送協会放送技術研究所内

【氏名】 藤澤 俊之

【発明者】

【住所又は居所】 東京都世田谷区砧一丁目10番11号 日本放送協会放送技術研究所内

【氏名】 和泉 吉則

【特許出願人】

【識別番号】 000004352

【氏名又は名称】 日本放送協会

【代理人】

【識別番号】 100083806

【弁理士】

【氏名又は名称】 三好 秀和

【電話番号】 03-3504-3075

【選任した代理人】

【識別番号】 100068342

【弁理士】

【氏名又は名称】 三好 保男

【選任した代理人】

【識別番号】 100100712

【弁理士】

【氏名又は名称】 岩▲崎▼ 幸邦

【選任した代理人】

【識別番号】 100087365

【弁理士】

【氏名又は名称】 栗原 彰

【選任した代理人】

【識別番号】 100079946

【弁理士】

【氏名又は名称】 横屋 超夫

【選任した代理人】

【識別番号】 100100929

【弁理士】

【氏名又は名称】 川又 澄雄

【選任した代理人】

【識別番号】 100095500

【弁理士】

【氏名又は名称】 伊藤 正和

【選任した代理人】

【識別番号】 100101247

【弁理士】

【氏名又は名称】 高橋 俊一

【選任した代理人】

【識別番号】 100098327

【弁理士】

【氏名又は名称】 高松 俊雄

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 001982

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9706789

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 コンテンツ提供システム及び方法、コンテンツ情報登録システム及び方法、コンテンツ情報登録課金システム及び方法、コンテンツ選択ユーザインタフェース、利用者端末、コンテンツ情報データベース、コンテンツ選択処理装置及び登録課金処理装置

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ネットワーク上に設けられ、ネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについて利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情報を、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させて格納するコンテンツ情報データベースと、

ネットワーク上に設けられ、ネットワークを介して利用者端末から受信する操作指令情報と現在時刻と前記チャンネルが順序列として定義されている場合には同一端末によって直前に選択されたチャンネルとから、コンテンツ情報を特定するための時刻情報とチャンネルとからなる検索キーを導出する機構と、その導出した検索キーを用いて前記コンテンツ情報データベースを検索して該当する1つのコンテンツ情報を取得し、それをネットワークを介して前記利用者端末に返信する機構とを有するコンテンツ選択処理装置と、

前記チャンネルを直接指定するためのボタンと、前記チャンネルが順序列として定義されている場合に前回選択したチャンネルに対する相対的選択操作を行うためのボタンと、操作されたボタンの情報を無線または有線媒体で送信する手段とを有するコンテンツ選択ユーザインタフェースと、

前記コンテンツ選択ユーザインタフェースから送られてくる前記ボタンの情報から前記操作指令情報を作成してネットワークを介して前記コンテンツ選択処理装置へ送って前記コンテンツ情報を取得する機構と、その取得したコンテンツ情報内にコンテンツ案内情報が存在する場合にはそれを利用者に提示する機構と、さらに受け取ったコンテンツ情報内にコンテンツ所在情報が存在する場合にはそのコンテンツ所在情報を用いてネットワークからコンテンツを取得して利用者に

提示する機構とを有する利用者端末と
を備えることを特徴とするコンテンツ提供システム。

【請求項2】 請求項1に記載のコンテンツ提供システムにおいて、
前記コンテンツ選択ユーザインタフェースが、前記ボタンに加え、現在時刻を
指定するボタンと、前回選択した時刻に対する相対的指定を行うためのボタンと
を更に備え、前記コンテンツ選択処理装置が導出する検索キーが、現在時刻または
現在時刻以外の時刻とチャンネルとで構成されることを特徴とするコンテンツ
提供システム。

【請求項3】 ネットワーク上に、ネットワーク上に存在するコンテンツの
所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについて利用者へ提示するため
のコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情報を、放送
チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定さ
れる提供時間との組と対応させて格納するコンテンツ情報データベースが存在す
る場合において、

利用者端末において、コンテンツ選択ユーザインタフェースが備える放送チャ
ンネルに相当するチャネルを指定するためのボタンまたはそのチャネルが順序列
として定義されている場合に前回選択したチャネルに対する相対的選択操作を行
うためのボタンを利用者が操作したとき、その操作されたボタンの情報から操作
指令情報を作成し、それをネットワークへ送信する工程と、

ネットワーク上に存在するコンテンツ選択処理装置において、ネットワークを
介して利用者端末から受信した前記操作指令情報と現在時刻と前記チャンネルが
順序列として定義されている場合、同一端末によって直前に選択されたチャンネル
とからコンテンツ情報を特定するための時刻情報とチャンネルからなる検索キー
を導出し、前記検索キーを用いて前記コンテンツ情報データベースから1つの
コンテンツ情報を抽出し、それをネットワークを介して利用者端末へ返信する工
程と、

前記利用者端末において、ネットワークを介して取り込んだコンテンツ情報内
にコンテンツ案内情報が存在する場合にはそれを利用者に提示し、さらに前記取
り込んだコンテンツ情報内にコンテンツ所在情報が存在する場合にはそのコンテ

ンツ所在情報を用いてネットワークからコンテンツを取得し、利用者に提示する工程と

を備えることを特徴とするコンテンツ提供方法。

【請求項4】 請求項3に記載のコンテンツ提供方法において、

前記ボタンの操作に、さらに現在時刻を指定するボタンまたは前回選択した時刻に対する相対的指定を行うためのボタンの操作が含まれ、前記検索キーが、現在時刻または現在時刻以外の時刻とチャンネルとで構成されることを特徴とするコンテンツ提供方法。

【請求項5】 ネットワーク上に設けられ、ネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについて利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情報を、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させて格納するコンテンツ情報データベースと、

ネットワーク上に設けられ、前記コンテンツ情報データベースに前記コンテンツ情報を、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させて登録する場合の、そのチャンネル及び提供時間と前記登録を行った登録者を識別する情報を管理するコンテンツ情報登録申し込みデータベースと、

ネットワーク上に設けられ、前記コンテンツ情報データベースに前記登録を行う権利を有する情報提供者に関する情報を格納する登録者データベースと、

ネットワーク上に設けられ、情報提供者の端末からネットワークを介して入力される、コンテンツ情報の新規登録を希望するチャンネル及び提供時間が登録可能かの問合せを受けて前記コンテンツ情報登録申し込みデータベースを検索し、登録状況の確認結果をネットワークを介して前記情報提供者の端末へ返送する機構と、ネットワークを介して入力された新規登録を希望するチャンネル及び提供時間と登録者識別情報を含む登録申し込みを受けてその登録申込者の認証を前記登録者データベースを用いて行う機構と、前記登録申込者が登録申し込みで持つ場合に前記コンテンツ情報登録申し込みデータベースへ登録申し

込みを行う機構と、同時にコンテンツ情報の登録を希望する場合にはそのコンテンツ情報の登録を前記コンテンツ情報データベースに要求する機構とを有するコンテンツ情報登録処理手段と

を備えることを特徴とするコンテンツ情報登録システム。

【請求項6】 請求項5に記載のコンテンツ情報登録システムにおいて、前記コンテンツ情報登録処理手段が、

情報提供者の端末からネットワークを介して入力された登録者識別情報を受けて当該入力された登録者識別情報の認証を前記登録者データベースを用いて行う機構と、

認証の結果登録の申し込みができる権利を持つ場合にその登録者識別情報に基づき前記コンテンツ情報登録申し込みデータベースを検索して登録申し込みの有無を確認する機構と、

既に登録申し込みがなされている場合に前記端末に申し込み済みのチャンネル及び提供時間を表示してその範囲に含まれるチャンネル及び提供時間の入力を促し、同時に、コンテンツ所在情報とコンテンツ案内情報の双方または一方で構成される登録を希望するコンテンツ情報の入力を促す機構と、

入力されたチャンネル及び提供時間、コンテンツ情報の登録を前記コンテンツ情報データベースに要求する機構と

を更に備えることを特徴とするコンテンツ情報登録システム。

【請求項7】 ネットワーク上に、ネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについて利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情報を、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させて格納するコンテンツ情報データベースと、前記コンテンツ情報データベースに前記コンテンツ情報を、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させて登録する場合の、そのチャンネル及び提供時間と前記登録を行った登録者を識別する情報を管理するコンテンツ情報登録申し込みデータベースと、ネットワーク上に設けられ、前記コンテンツ情報データベースに前記登録を行

う権利を有する情報提供者に関する情報を格納する登録者データベースとが存在する場合において、

情報提供者の端末からネットワークを介して入力される、コンテンツ情報の新規登録を希望するチャンネル及び提供時間が登録可能かの問合わせを受けて前記コンテンツ情報登録申し込みデータベースを検索し、登録状況の確認結果をネットワークを介して前記情報提供者の端末へ返送する工程と、

ネットワークを介して入力される新規登録を希望するチャンネル及び提供時間と登録者識別情報とを含む登録申し込みを受けてその登録申込者の認証を前記登録者データベースを用いて行う工程と、前記認証の結果、前記登録申込者が登録申し込みできる権利を持つ場合に前記コンテンツ情報登録申し込みデータベースへ登録申し込みを行う工程と、

同時にコンテンツ情報の登録を希望する場合にはそのコンテンツ情報の登録を前記コンテンツ情報データベースに要求する工程と

を備えることを特徴とするコンテンツ情報登録方法。

【請求項8】 請求項7に記載のコンテンツ情報登録方法において、

情報提供者の端末からネットワークを介して入力された登録者識別情報を受けて当該入力された登録者識別情報の認証を前記登録者データベースを用いて行う工程と、認証の結果登録の申し込みができる権利を持つ場合にその登録者識別情報に基づき前記コンテンツ情報登録申し込みデータベースを検索して登録申し込みの有無を確認する工程と、既に登録申し込みがなされている場合に前記端末に申し込み済みのチャンネル及び提供時間を表示してその範囲に含まれるチャンネル及び提供時間の入力を促し、同時に、コンテンツ所在情報とコンテンツ案内情報の双方または一方で構成される登録を希望するコンテンツ情報の入力を促す工程と、入力されたチャンネル及び提供時間、コンテンツ情報の登録を前記コンテンツ情報データベースに要求する工程とを更に含むことを特徴とするコンテンツ情報登録方法。

【請求項9】 ネットワーク上に設けられ、ネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについての利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情

報を、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させてコンテンツ情報データベースに登録する場合の、そのチャンネル及び提供時間と前記登録を行った登録者を識別する情報を管理するコンテンツ情報登録申し込みデータベースと、

ネットワーク上に設けられ、前記コンテンツ情報データベースに前記登録を行う権利を有する情報提供者に関する情報を格納する登録者データベースと、

ネットワークを介して前記コンテンツ情報登録申し込みデータベースに対し一定期間に含まれる提供時間を持つコンテンツ情報の登録申し込み状況の問合わせを行い登録申し込み状況の取得を行う機関と、前記取得した登録申し込み状況から抽出した登録者識別情報を毎に、前記登録者データベースから登録者に関する情報をネットワークを介して取得する機関と、前記2つのデータベースから取得した結果に基づき、登録者毎にコンテンツ情報の登録申し込みに伴う課金額を計算する機関とを有する登録課金処理手段と

を備えることを特徴とするコンテンツ情報登録課金システム。

【請求項10】 ネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報と、そのコンテンツについての利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報の双方または一方で構成されるコンテンツ情報を、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させてコンテンツ情報データベースに登録する場合の、そのチャンネル及び提供時間と前記登録を行った登録者を識別する情報を管理するコンテンツ情報登録申し込みデータベースから一定期間に含まれる提供時間を持つコンテンツ情報の登録申し込み状況を取得する工程と、

前記取得した登録申し込み状況から登録者識別情報を抽出し、抽出した登録者識別情報を毎に、前記コンテンツ情報データベースに前記登録を行う権利を有する情報提供者に関する情報を格納する登録者データベースから登録者に関する情報を取得する工程と、

前記2つのデータベースから得た結果から登録者毎にコンテンツ情報の登録申し込みに伴う課金額を計算する工程と

を含むことを特徴とするコンテンツ情報登録課金方法。

【請求項11】 放送チャンネルに相当するチャンネルを直接指定するためのボタンと、前記チャンネルが順序列として定義されている場合に前回選択したチャンネルに対する相対的選択操作を行うためのボタンと、操作されたボタンの情報を無線または有線媒体で送信する手段とを備えることを特徴とするコンテンツ選択ユーザインタフェース。

【請求項12】 請求項11に記載のコンテンツ選択ユーザインタフェースにおいて、

前記ボタンに加え、現在時刻を指定するボタンと、前回選択した時刻に対する相対的指定を行うためのボタンとを更に備えることを特徴とするコンテンツ選択ユーザインタフェース。

【請求項13】 請求項11または請求項12に記載のコンテンツ選択ユーザインタフェースより受信した前記ボタンの情報から操作指令情報を生成し、ネットワークを介してコンテンツ選択処理装置に送信することで、そのネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについての利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情報を取得する機構と、

その取得したコンテンツ情報内にコンテンツ案内情報が存在する場合にはそれを利用者に提示する機構と、

さらに受け取ったコンテンツ情報内にコンテンツ所在情報が存在する場合にはそのコンテンツ所在情報を用いてネットワークからコンテンツを取得して利用者に提示する機構と

を備えることを特徴とする利用者端末。

【請求項14】 ネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについての利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情報が、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させて格納されていることを特徴とするコンテンツ情報データベース。

【請求項15】 ネットワークを介して利用者端末から送信された操作指令

情報と現在時刻と前記チャンネルが順序列として定義されている場合には同一端末によって直前に選択されたチャンネルとからコンテンツ情報を特定するための時刻情報とチャンネルからなる検索キーを導出する機構と、

ネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについての利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情報を、前記チャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させて格納するネットワーク上のコンテンツ情報データベースから前記検索キーを用いて1つのコンテンツ情報を抽出する機構と、

前記抽出したコンテンツ情報をネットワークを介して利用者端末に返信する機構と

を備えることを特徴とするコンテンツ選択処理装置。

【請求項16】 情報提供者の端末からネットワークを介して入力される、コンテンツ情報の新規登録を希望するチャンネル及び提供時間が登録可能かの問合せを受けて、ネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについて利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情報を、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させてコンテンツ情報データベース登録する場合の、そのチャンネル及び提供時間と前記登録を行った登録者を識別する情報を管理するコンテンツ情報登録申し込みデータベースを検索し、登録状況の確認結果をネットワークを介して前記情報提供者の端末へ返送する機構と、

ネットワークを介して入力された新規登録を希望するチャンネル及び提供時間と登録者識別情報を含む登録申し込みを受けてその登録申込者の認証を、前記コンテンツ情報データベースに前記登録を行う権利を有する情報提供者に関する情報を格納する登録者データベースを用いて行う機構と、

前記認証の結果、前記登録申込者が登録申し込みできる権利を持つ場合に前記コンテンツ情報登録申し込みデータベースへ登録申し込みを行う機構と、

前記登録申し込みされたチャンネル及び提供時間の登録を前記コンテンツ情報

データベースに要求する機構と、

同時にコンテンツ情報の登録を希望する場合にはそのコンテンツ情報の登録を前記コンテンツ情報データベースに要求する機構と

を備えることを特徴とするコンテンツ情報登録処理装置。

【請求項17】 請求項16に記載のコンテンツ情報登録処理装置において

情報提供者の端末からネットワークを介して入力された登録者識別情報を受けて当該入力された登録者識別情報の認証を前記登録者データベースを用いて行う機構と、

認証の結果登録の申し込みができる権利を持つ場合にその登録者識別情報に基づき前記コンテンツ情報登録申し込みデータベースを検索して登録申し込みの有無を確認する機構と、

既に登録申し込みがなされている場合に前記端末に申し込み済みのチャンネル及び提供時間を表示してその範囲に含まれるチャンネル及び提供時間の入力を促し、同時に、コンテンツ所在情報とコンテンツ案内情報の双方または一方で構成される登録を希望するコンテンツ情報の入力を促す機構と、

入力されたチャンネル及び提供時間、コンテンツ情報の登録を前記コンテンツ情報データベースに要求する機構と

を更に備えることを特徴とするコンテンツ情報登録処理装置。

【請求項18】 ネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについて利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情報を、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させてコンテンツ情報データベースに登録する場合の、そのチャンネル及び提供時間と前記登録を行った登録者を識別する情報を管理するコンテンツ情報登録申し込みデータベースに対し、ネットワークを介して一定期間に含まれる提供時間を持つコンテンツ情報の登録申し込み状況の問合わせを行い登録申し込み状況の取得を行う機構と、

前記取得した登録申し込み状況から抽出した登録者識別情報毎に、前記コンテ

ンツ情報データベースに前記登録を行う権利を有する情報提供者に関する情報を格納する登録者データベースから登録者に関する情報をネットワークを介して取得する機構と、

前記2つのデータベースから取得した結果に基づき、登録者毎にコンテンツ情報の申し込みに伴う課金額を計算する機構と
を備えることを特徴とする登録課金処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、時刻によって異なるコンテンツをネットワーク手段を用いて提供するコンテンツ提供システム及びコンテンツ提供方法、コンテンツ情報登録システム及び方法、コンテンツ情報登録課金システム及び方法、コンテンツ選択ユーザインターフェース、利用者端末、コンテンツ情報データベース、コンテンツ選択処理装置及び登録課金処理装置に関する。

【0002】

【発明の概要】

本発明は、放送番組のように時刻によって提供する情報が異なる既存情報提供メディアやイベントに時間的に連動させて、インターネットなどのネットワーク手段を用いて新たなコンテンツ提供を行うための時間連動型コンテンツ提供システムとそのコンテンツ情報登録システム、コンテンツ情報登録課金システム等に関する。

【0003】

本発明では、既存の情報提供メディアやイベントに時間的に連動させて提供するコンテンツをインターネットなどのネットワーク上のウェブサーバなどに置き、時刻とチャンネルを指定すれば、そのコンテンツの所在情報を得ることができるコンテンツ情報データベースをネットワーク上に用意する。コンテンツ情報データベースには、特定の開始日付・時刻から終了日付・時刻までの間に特定のチャンネルが選択された時に、どのコンテンツを利用者が見ればよいかが解るようにそのコンテンツの所在情報と、付加的に利用者に提示するコンテンツに関して

の案内情報を格納する。

【0004】

また、同時に、コンテンツ情報データベースを利用者が簡単に利用できることを目的とした専用のコンテンツ選択ユーザインタフェースを備えた利用者端末を用意する。テレビ受信機ではチャンネル選択装置によって視聴者が簡単に操作時に放送されている複数のチャンネルの番組が選択できているように、本発明のコンテンツ選択ユーザインタフェースは、放送チャンネルに相当するチャンネルを選択するボタンと時刻を指定するボタンとを備える。これにより、時刻を現在時刻だけでなく、一定時間過去や未来の時刻を選択することができ、操作指示が行われた時刻のコンテンツだけでなく、少しの時間前や時間後に提供されていたコンテンツをも比較的簡単なユーザ操作で利用できるようになる。

【0005】

さらに、ネットワーク上にコンテンツ選択ユーザインタフェースからの指令でコンテンツ情報データベースを検索するためのコンテンツ選択処理装置とを用意する。

【0006】

利用者がコンテンツ選択ユーザインタフェースのボタンを押した選択指示が利用者端末を通して、コンテンツ選択処理装置に伝えられると、コンテンツ選択処理装置はその時刻に指定されたチャンネルのコンテンツの所在情報をコンテンツ情報データベースから抽出し利用者端末に結果を返信する。利用者端末はその返信を受け取ることで、コンテンツの所在を知ることができるので、自動的にコンテンツを取得し利用者が閲覧できるようにする。

【0007】

従来では、放送などの時刻によって提供する情報が異なる情報提供メディアやイベントに対して、付加的にネットワーク手段でコンテンツを提供する場合、利用者がそのコンテンツを利用するにはネットワーク中の多くのコンテンツの中から探し出したり、ハイパーリンクを何段も選択する必要があるなど手順や手間が複雑であり、放送番組の放送時間中やイベント実施中、もしくは終了したすぐ後にコンテンツを利用できなかったり、利用のための時間がかかるため

利用意欲が薄れたりすることが多い。

【0008】

それに対し、本発明によるコンテンツ提供手法では、テレビのチャンネルを選択するように、迅速にコンテンツを選択できるアクセス手段を提供することで、コンテンツの利用者数、利用回数を増加させ、コンテンツ上の広告の効果を高めることが期待できる。そのため、本発明の手法は、コンテンツ提供者にとって利点があるだけでなく、コンテンツ提供システムを新たな情報媒体、公告媒体として提供する事業としても有益である。

【0009】

加えて、上記のコンテンツ提供手法を実現するために、本発明では、コンテンツ情報データベースにコンテンツ情報を登録するためのコンテンツ情報登録システムを備えるので、本発明のコンテンツ提供手法によるサービスを提供する事業者は、コンテンツ情報を登録する情報提供者に対して、コンテンツ情報を登録する過程で課金を行う事業も行なうことができる。

【0010】

【従来の技術】

放送番組のように時刻に合わせて提供される情報やイベントに対して、付加的な番組情報や広告情報などをデータコンテンツとして利用者に提供するには、データ放送による方法とインターネットなどのネットワーク手段による方法がある。

【0011】

データ放送による方法では、通常のテレビおよびラジオ放送の信号の一部にデジタルデータを重畠し放送局から送出する形でコンテンツを提供する。利用者は、データ放送を受信することのできる機能が追加されたテレビおよびラジオ受信機を使ってコンテンツを取得することができる。

【0012】

また、インターネットなどネットワーク手段による方法では、データコンテンツをHTML (Hyper Text Markup Language) などウェブページ形式のファイルに構成し、そのファイルを格納したネットワークに接続されたウェブサーバによ

って提供することができる。

【0013】

利用者は、ネットワークに接続されたパーソナルコンピュータなどの端末において、プラウザソフトを用いてウェブサーバ上のコンテンツを閲覧、利用することができます。ウェブページ形式のコンテンツ提供方式では、提供するコンテンツページは、ネットワーク上の他のページからハイパーリンクでつなげることで、利用者は他のページからハイパーリンクを辿って同コンテンツページにアクセスすることができる。

【0014】

【発明が解決しようとする課題】

しかし、データ放送による方法では、放送番組に時間的に連動させたコンテンツ提供が行いやすい面があるものの、送出側および受信側にデータ放送に対応した特別な装置が必要となり、その装置にかかる費用が、データコンテンツ提供者および利用者の増加を阻害する要因となっている。

【0015】

また、インターネットなどネットワーク手段による方法では、他のページからハイパーリンクを辿って、コンテンツページにアクセスする方法であるので、図26に示すように、利用者は、ページ上に並べられたハイパーリンクの中から、通常は頻繁に利用する入り口ページ1から順に適当なハイパーリンクを探して選択するという作業を何回も繰り返す必要がある。

【0016】

図26の例で言えば、コンテンツページ12へ辿りつくには、入り口ページ1から、ページ4、ページ7、ページ9、そして、コンテンツページ12へという経路を取る必要がある。そのハイパーリンクの選択に要する手間が大きければ大きいほどコンテンツの利用者数や利用回数を減少させる。

【0017】

そのため、コンテンツの利用を増やすためには、コンテンツ提供者は、利用者の多いページ、すなわち、入り口ページに近いページ上に、コンテンツページへのハイパーリンクを設置する必要があるが、利用者の多いページほどハイパー

ンクの設置はコンテンツ提供者間でも人気が高く、そのため設置費用が高価になりがちである。

【0018】

さらに、時刻によって異なる多くのコンテンツページへのハイパーリンクを利用者の多いページに設置する場合は、そのコンテンツ数だけ高い費用がかかる点が大きな問題となる。

【0019】

また、1つのページに多くのハイパーリンクを並べると、利用者にとって選択肢が多くなるので、その中から希望するコンテンツへのハイパーリンクを見つけることが困難になる問題もある。

【0020】

ハイパーリンク以外のコンテンツページへのアクセス手段としては、データコンテンツの所在を表す識別子であるURL (Uniform Resource Locator) を直接利用者がコンテンツ閲覧用のブラウザに指定する方法や、URLの代わりになるページを指し示すインターネットナンバーなどの識別子をブラウザを使って入力し、ネットワークサービスによってページの所在を教える手法もあるが、利用者がURLや他の識別子をキーボードなどの入力手段を用いてブラウザに入力するには非常に手間がかかる。

【0021】

上記のように、ネットワーク手段による従来手法では、実際に利用者が希望するデータコンテンツにアクセスする手間が大きく、時刻に合わせて異なるコンテンツが次々と提供される場合のアクセス手段としては問題点が大きい。そのため、多くのコンテンツ利用者を求めるのが難しいという問題がある。

【0022】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的は、放送番組のように時刻に合わせて提供される情報やイベントに関連して付加的な情報をネットワーク上のコンテンツとして提供する場合に、利用者が利用者端末を通して迅速にコンテンツが利用できるようにするコンテンツ提供システム及び方法等を提供することにある。

【0023】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、請求項1に記載のコンテンツ提供システムは、ネットワーク上に設けられ、ネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについて利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情報を、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させて格納するコンテンツ情報データベースと、ネットワーク上に設けられ、ネットワークを介して利用者端末から受信する操作指令情報と現在時刻と前記チャンネルが順序列として定義されている場合には同一端末によって直前に選択されたチャンネルとから、コンテンツ情報を特定するための時刻情報とチャンネルとからなる検索キーを導出する機構と、その導出した検索キーを用いて前記コンテンツ情報データベースを検索して該当する1つのコンテンツ情報を取得し、それをネットワークを介して前記利用者端末に返信する機構とを有するコンテンツ選択処理装置と、前記チャンネルを直接指定するためのボタンと、前記チャンネルが順序列として定義されている場合に前回選択したチャンネルに対する相対的選択操作を行うためのボタンと、操作されたボタンの情報を無線または有線媒体で送信する手段とを有するコンテンツ選択ユーザインタフェースと、前記コンテンツ選択ユーザインタフェースから送られてくる前記ボタンの情報から前記操作指令情報を作成してネットワークを介して前記コンテンツ選択処理装置へ送って前記コンテンツ情報を取得する機構と、その取得したコンテンツ情報内にコンテンツ案内情報が存在する場合にはそれを利用者に提示する機構と、さらに受け取ったコンテンツ情報内にコンテンツ所在情報が存在する場合にはそのコンテンツ所在情報を用いてネットワークからコンテンツを取得して利用者に提示する機構とを有する利用者端末とを備えることを特徴としている。

【0024】

請求項2に記載のコンテンツ提供システムは、請求項1に記載のコンテンツ提供システムにおいて、前記コンテンツ選択ユーザインタフェースが、前記ボタンに加え、現在時刻を指定するボタンと、前回選択した時刻に対する相対的指定を

行うためのボタンとを更に備え、前記コンテンツ選択処理装置が導出する検索キーが、現在時刻または現在時刻以外の時刻とチャンネルとで構成されることを特徴としている。

【0025】

請求項3に記載のコンテンツ提供方法は、ネットワーク上に、ネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについて利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情報を、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させて格納するコンテンツ情報データベースが存在する場合において、利用者端末において、コンテンツ選択ユーザインターフェースが備える放送チャンネルに相当するチャネルを指定するためのボタンまたはそのチャネルが順序列として定義されている場合に前回選択したチャネルに対する相対的選択操作を行うためのボタンを利用者が操作したとき、その操作されたボタンの情報から操作指令情報を作成し、それをネットワークへ送信する工程と、ネットワーク上に存在するコンテンツ選択処理装置において、ネットワークを介して利用者端末から受信した前記操作指令情報と現在時刻と前記チャネルが順序列として定義されている場合、同一端末によって直前に選択されたチャネルとからコンテンツ情報を特定するための時刻情報とチャネルからなる検索キーを導出し、前記検索キーを用いて前記コンテンツ情報データベースから1つのコンテンツ情報を抽出し、それをネットワークを介して利用者端末へ返信する工程と、前記利用者端末において、ネットワークを介して取り込んだコンテンツ情報内にコンテンツ案内情報が存在する場合にはそれを利用者に提示し、さらに前記取り込んだコンテンツ情報内にコンテンツ所在情報が存在する場合にはそのコンテンツ所在情報を用いてネットワークからコンテンツを取得し、利用者に提示する工程とを備えることを特徴としている。

【0026】

請求項4に記載のコンテンツ提供方法は、請求項3に記載のコンテンツ提供方法において、前記ボタンの操作に、さらに現在時刻を指定するボタンまたは前回選択した時刻に対する相対的指定を行うためのボタンの操作が含まれ、前記検索

キーが、現在時刻または現在時刻以外の時刻とチャンネルとで構成されることを特徴としている。

【0027】

請求項5に記載のコンテンツ情報登録システムは、ネットワーク上に設けられ、ネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについて利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情報を、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させて格納するコンテンツ情報データベースと、ネットワーク上に設けられ、前記コンテンツ情報データベースに前記コンテンツ情報を、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させて登録する場合の、そのチャンネル及び提供時間と前記登録を行った登録者を識別する情報を管理するコンテンツ情報登録申し込みデータベースと、ネットワーク上に設けられ、前記コンテンツ情報データベースに前記登録を行う権利を有する情報提供者に関する情報を格納する登録者データベースと、ネットワーク上に設けられ、情報提供者の端末からネットワークを介して入力される、コンテンツ情報の新規登録を希望するチャンネル及び提供時間が登録可能かの問合せを受けて前記コンテンツ情報登録申し込みデータベースを検索し、登録状況の確認結果をネットワークを介して前記情報提供者の端末へ返送する機構と、ネットワークを介して入力された新規登録を希望するチャンネル及び提供時間と登録者識別情報を含む登録申し込みを受けてその登録申込者の認証を前記登録者データベースを用いて行う機構と、前記登録申込者が登録申し込みできる権利を持つ場合に前記コンテンツ情報登録申し込みデータベースへ登録申し込みを行う機構と、同時にコンテンツ情報の登録を希望する場合にはそのコンテンツ情報の登録を前記コンテンツ情報データベースに要求する機構とを有するコンテンツ情報登録処理手段とを備えることを特徴としている。

【0028】

請求項6に記載のコンテンツ情報登録システムは、請求項5に記載のコンテンツ情報登録システムにおいて、前記コンテンツ情報登録処理手段が、情報提供者

の端末からネットワークを介して入力された登録者識別情報を受けて当該入力された登録者識別情報の認証を前記登録者データベースを用いて行う機構と、認証の結果登録の申し込みができる権利を持つ場合にその登録者識別情報に基づき前記コンテンツ情報登録申し込みデータベースを検索して登録申し込みの有無を確認する機構と、既に登録申し込みがなされている場合に前記端末に申し込み済みのチャンネル及び提供時間を表示してその範囲に含まれるチャンネル及び提供時間の入力を促し、同時に、コンテンツ所在情報とコンテンツ案内情報の双方または一方で構成される登録を希望するコンテンツ情報の入力を促す機構と、入力されたチャンネル及び提供時間、コンテンツ情報の登録を前記コンテンツ情報データベースに要求する機構とを更に備えることを特徴としている。

【0029】

請求項7に記載のコンテンツ情報登録方法は、ネットワーク上に、ネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについて利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情報を、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させて格納するコンテンツ情報データベースと、前記コンテンツ情報データベースに前記コンテンツ情報を、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させて登録する場合の、そのチャンネル及び提供時間と前記登録を行った登録者を識別する情報とを管理するコンテンツ情報登録申し込みデータベースと、ネットワーク上に設けられ、前記コンテンツ情報データベースに前記登録を行う権利を有する情報提供者に関する情報を格納する登録者データベースとが存在する場合において、情報提供者の端末からネットワークを介して入力される、コンテンツ情報の新規登録を希望するチャンネル及び提供時間が登録可能かの問合せを受けて前記コンテンツ情報登録申し込みデータベースを検索し、登録状況の確認結果をネットワークを介して前記情報提供者の端末へ返送する工程と、ネットワークを介して入力される新規登録を希望するチャンネル及び提供時間と登録者識別情報とを含む登録申し込みを受けてその登録申込者の認証を前記登録者データベースを用いて行う工程と、前記認証の結果

、前記登録申込者が登録申し込みできる権利を持つ場合に前記コンテンツ情報登録申し込みデータベースへ登録申し込みを行う工程と、同時にコンテンツ情報の登録を希望する場合にはそのコンテンツ情報の登録を前記コンテンツ情報データベースに要求する工程とを備えることを特徴としている。

【0030】

請求項8に記載のコンテンツ情報登録方法は、請求項7に記載のコンテンツ情報登録方法において、情報提供者の端末からネットワークを介して入力された登録者識別情報を受けて当該入力された登録者識別情報の認証を前記登録者データベースを用いて行う工程と、認証の結果登録の申し込みができる権利を持つ場合にその登録者識別情報に基づき前記コンテンツ情報登録申し込みデータベースを検索して登録申し込みの有無を確認する工程と、既に登録申し込みがなされている場合に前記端末に申し込み済みのチャンネル及び提供時間を表示してその範囲に含まれるチャンネル及び提供時間の入力を促し、同時に、コンテンツ所在情報とコンテンツ案内情報の双方または一方で構成される登録を希望するコンテンツ情報の入力を促す工程と、入力されたチャンネル及び提供時間、コンテンツ情報の登録を前記コンテンツ情報データベースに要求する工程とを更に含むことを特徴としている。

【0031】

請求項9に記載のコンテンツ情報登録課金システムは、ネットワーク上に設けられ、ネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについての利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情報を、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させてコンテンツ情報データベースに登録する場合の、そのチャンネル及び提供時間と前記登録を行った登録者を識別する情報を管理するコンテンツ情報登録申し込みデータベースと、ネットワーク上に設けられ、前記コンテンツ情報データベースに前記登録を行う権利を有する情報提供者に関する情報を格納する登録者データベースと、ネットワークを介して前記コンテンツ情報登録申し込みデータベースに対し一定期間に含まれる提供時間を持つコンテンツ情報の登録申し込み状

況の問合せを行い登録申し込み状況の取得を行う機構と、前記取得した登録申し込み状況から抽出した登録者識別情報毎に、前記登録者データベースから登録者に関する情報をネットワークを介して取得する機構と、前記2つのデータベースから取得した結果に基づき、登録者毎にコンテンツ情報の登録申し込みに伴う課金額を計算する機構とを有する登録課金処理手段とを備えることを特徴としている。

【0032】

請求項10に記載のコンテンツ情報登録課金方法は、ネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報と、そのコンテンツについての利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報の双方または一方で構成されるコンテンツ情報を、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させてコンテンツ情報データベースに登録する場合の、そのチャンネル及び提供時間と前記登録を行った登録者を識別する情報を管理するコンテンツ情報登録申し込みデータベースから一定期間に含まれる提供時間を持つコンテンツ情報の登録申し込み状況を取得する工程と、前記取得した登録申し込み状況から登録者識別情報を抽出し、抽出した登録者識別情報毎に、前記コンテンツ情報データベースに前記登録を行う権利を有する情報提供者に関する情報を格納する登録者データベースから登録者に関する情報を取得する工程と、前記2つのデータベースから得た結果から登録者毎にコンテンツ情報の登録申し込みに伴う課金額を計算する工程とを含むことを特徴としている。

【0033】

請求項11に記載のコンテンツ選択ユーザインタフェースは、放送チャンネルに相当するチャンネルを直接指定するためのボタンと、前記チャンネルが順序列として定義されている場合に前回選択したチャンネルに対する相対的選択操作を行うためのボタンと、操作されたボタンの情報を無線または有線媒体で送信する手段とを備えることを特徴としている。

【0034】

請求項12に記載のコンテンツ選択ユーザインタフェースは、請求項11に記

載のコンテンツ選択ユーザインタフェースにおいて、前記ボタンに加え、現在時刻を指定するボタンと、前回選択した時刻に対する相対的指定を行うためのボタンとを更に備えることを特徴としている。

【0035】

請求項13に記載の利用者端末は、請求項11または請求項12に記載のコンテンツ選択ユーザインタフェースより受信した前記ボタンの情報から操作指令情報を生成し、ネットワークを介してコンテンツ選択処理装置に送信することで、そのネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについての利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情報を取得する機構と、その取得したコンテンツ情報内にコンテンツ案内情報が存在する場合にはそれを利用者に提示する機構と、さらに受け取ったコンテンツ情報内にコンテンツ所在情報が存在する場合にはそのコンテンツ所在情報を用いてネットワークからコンテンツを取得して利用者に提示する機構とを備えることを特徴としている。

【0036】

請求項14に記載のコンテンツ情報データベースは、ネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについての利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情報が、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させて格納されていることを特徴としている。

【0037】

請求項15に記載のコンテンツ選択処理装置は、ネットワークを介して利用者端末から送信された操作指令情報と現在時刻と前記チャンネルが順序列として定義されている場合には同一端末によって直前に選択されたチャンネルとからコンテンツ情報を特定するための時刻情報とチャンネルからなる検索キーを導出する機構と、ネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについての利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情報を、前記チャンネルと開始日付・時刻

及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させて格納するネットワーク上のコンテンツ情報データベースから前記検索キーを用いて1つのコンテンツ情報を抽出する機構と、前記抽出したコンテンツ情報をネットワークを介して利用者端末に返信する機構とを備えることを特徴としている。

【0038】

請求項16に記載のコンテンツ情報登録処理装置は、情報提供者の端末からネットワークを介して入力される、コンテンツ情報の新規登録を希望するチャンネル及び提供時間が登録可能かの問合わせを受けて、ネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについて利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情報を、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させてコンテンツ情報データベース登録する場合の、そのチャンネル及び提供時間と前記登録を行った登録者を識別する情報を管理するコンテンツ情報登録申し込みデータベースを検索し、登録状況の確認結果をネットワークを介して前記情報提供者の端末へ返送する機構と、ネットワークを介して入力された新規登録を希望するチャンネル及び提供時間と登録者識別情報を含む登録申し込みを受けてその登録申込者の認証を、前記コンテンツ情報データベースに前記登録を行う権利を有する情報提供者に関する情報を格納する登録者データベースを用いて行う機構と、前記認証の結果、前記登録申込者が登録申し込みできる権利を持つ場合に前記コンテンツ情報登録申し込みデータベースへ登録申し込みを行う機構と、前記登録申し込みされたチャンネル及び提供時間の登録を前記コンテンツ情報データベースに要求する機構と、同時にコンテンツ情報の登録を希望する場合にはそのコンテンツ情報の登録を前記コンテンツ情報データベースに要求する機構とを備えることを特徴としている。

【0039】

請求項17に記載のコンテンツ情報登録処理装置は、請求項16に記載のコンテンツ情報登録処理装置において、情報提供者の端末からネットワークを介して入力された登録者識別情報を受けて当該入力された登録者識別情報の認証を前記登録者データベースを用いて行う機構と、認証の結果登録の申し込みができる権

利を持つ場合にその登録者識別情報に基づき前記コンテンツ情報登録申し込みデータベースを検索して登録申し込みの有無を確認する機構と、既に登録申し込みがなされている場合に前記端末に申し込み済みのチャンネル及び提供時間を表示してその範囲に含まれるチャンネル及び提供時間の入力を促し、同時に、コンテンツ所在情報とコンテンツ案内情報の双方または一方で構成される登録を希望するコンテンツ情報の入力を促す機構と、入力されたチャンネル及び提供時間、コンテンツ情報の登録を前記コンテンツ情報データベースに要求する機構とを更に備えることを特徴としている。

【0040】

請求項18に記載の登録課金処理装置は、ネットワーク上に存在するコンテンツの所在を示すコンテンツ所在情報とそのコンテンツについて利用者へ提示するためのコンテンツ案内情報との双方または一方で構成されるコンテンツ情報を、放送チャンネルに相当するチャンネルと開始日付・時刻及び終了日付・時刻で規定される提供時間との組と対応させてコンテンツ情報データベースに登録する場合の、そのチャンネル及び提供時間と前記登録を行った登録者を識別する情報を管理するコンテンツ情報登録申し込みデータベースに対し、ネットワークを介して一定期間に含まれる提供時間を持つコンテンツ情報の登録申し込み状況の問い合わせを行い登録申し込み状況の取得を行う機構と、前記取得した登録申し込み状況から抽出した登録者識別情報を、前記コンテンツ情報データベースに前記登録を行う権利を有する情報提供者に関する情報を格納する登録者データベースから登録者に関する情報をネットワークを介して取得する機構と、前記2つのデータベースから取得した結果に基づき、登録者毎にコンテンツ情報の申し込みに伴う課金額を計算する機構とを備えることを特徴としている。

【0041】

本発明のコンテンツ提供システム及び方法によれば、利用者がコンテンツ選択ユーザインターフェースのボタンを押した操作指令情報を利用者端末を通して、コンテンツ選択処理装置に伝えられると、コンテンツ選択処理装置はその時刻に指定されたチャンネルのコンテンツの所在情報をコンテンツ情報データベースから抽出し利用者端末に結果を返信する。利用者端末では、その返信を受け取ること

で、コンテンツの所在を知ることができるので、自動的にコンテンツを取得し利用者が閲覧できるようになる。

【0042】

また、本発明のコンテンツ提供システム及び方法によれば、コンテンツ選択ユーザインターフェースが、チャンネル選択に加え、時刻を現在時刻だけでなく、一定時間過去や未来の時刻を選択する機能を持っているので、操作指示が行われた時刻のコンテンツだけでなく、少しの時間前や時間後に提供されていたコンテンツをも比較的簡単なユーザ操作で利用することができるようになる。

【0043】

したがって、本発明のコンテンツ提供システム及び方法、即ち本発明によるコンテンツ提供手法によれば、テレビのチャンネルを選択するように、迅速にコンテンツを選択できるアクセス手段を提供できるため、コンテンツの利用者数、利用回数を増加させ、コンテンツ上の広告の効果を高めることが期待できる。コンテンツ提供者にとって利点があるだけでなく、本発明のコンテンツ提供システムを新しい情報媒体、広告媒体として提供する事業としても有益である。

【0044】

さらに、本発明のコンテンツ情報登録システム及び方法によれば、本発明のコンテンツ提供手法によるサービスを提供する事業者は、コンテンツ情報を登録する情報提供者の管理を行うことができるようになる。

【0045】

加えて本発明のコンテンツ情報登録課金システム及び方法によれば、本発明のコンテンツ提供手法によるサービスを提供する事業者は、コンテンツ情報を登録する情報提供者に対して、コンテンツ情報を登録する過程で課金を行う事業も行なうことができるようになる。

【0046】

したがって、本発明によれば、コンテンツの利用による課金収入やコンテンツ上の広告効果を大きくすることができ、また迅速にコンテンツを利用できるアクセス手段を提供する新しいネットワークサービスを構築できるようになる。

【0047】

【発明の実施の形態】

以下、本発明の実施の形態を、図面を用いて詳細に説明する。

【0048】

《実施の形態1》

図1は、放送番組に対応した番組情報や広告情報をインターネットのウェブページを使って提供する場合に、利用者にそれらのウェブページを迅速にアクセスするための手段を提供するコンテンツ提供システムの構成例を示すブロック図である。

【0049】

図1において、コンテンツ提供サーバ1は、利用者に提供する番組情報や広告情報（以下「コンテンツ」という）を格納する。即ち、利用者端末4では、コンテンツ提供サーバ1にコンテンツ取得要求（6）を送ることにより、コンテンツ取得（7）が行えるようになっている。コンテンツ提供サーバ1は、インターネットに接続されたウェブサーバである。

【0050】

コンテンツは、ウェブページで実現することができ、コンテンツ情報毎に異なるサーバやサーバ内の異なる位置に格納し提供することができる。それらのコンテンツの格納場所は、コンテンツ所在情報として記述される。コンテンツ所在情報にURLのような一般的のネットワークリソースを指定する記述を用いると、既存のウェブサーバをコンテンツ提供サーバ1として使用できる。本実施の形態においてもコンテンツ所在情報として、URLを用いている。

【0051】

コンテンツ情報データベース2は、利用者に対してコンテンツ情報を提供するデータベースであり、通常のデータベース機能を持つ計算機システムで実現される。

【0052】

コンテンツ情報データベース2には、具体的には図2に示すように、放送チャネルに相当する“チャネル”と、開始日付時刻と終了日付時刻で定義される“提供時間”の組に対して、同チャネルで同提供時間に利用者に提供するコン

コンテンツのコンテンツ情報が格納される。なお、図2は、コンテンツ情報データベース2内のコンテンツ情報登録空間模式図であるが、詳細は、後述する。

【0053】

ここで、コンテンツ情報は、コンテンツのタイトル（放送番組に対応するコンテンツの場合、番組タイトル）やコンテンツの概要など利用者に提示するためのコンテンツ案内情報と、前記コンテンツ所在情報とから構成される。但し、コンテンツ案内情報とコンテンツ所在情報の一方の情報は空であることもある。

【0054】

コンテンツ情報データベース2では、コンテンツ選択処理部3から“チャンネル”と“時刻”が検索キー（3）として与えられた場合、その検索キー（3）の“チャンネル”と“時刻”を含む提供時間とを持つコンテンツ情報（4）をコンテンツ選択処理部3に返すようになっている。

【0055】

コンテンツ選択処理部3は、利用者端末4からの要求（操作指令情報（2））を受けて検索キー（3）に変換する処理と、その検索キー（3）によりコンテンツ情報データベース2を検索してコンテンツ情報（4）を取得する処理と、それをコンテンツ情報（5）として利用者端末4に返信する処理とを行う。また、同一利用者端末によって指定された前回の検索キーの“チャンネル”と“時刻”を保存し、次の相対的な指定が行われたときに、それを利用することも行うようになっている。さらに、コンテンツ選択処理部3は、時刻発生部6を備え、現在の日付、時刻情報を取得するようになっている。

【0056】

利用者端末4は、通常のインターネットに接続されるパーソナルコンピュータと同等の機能を持ち、コンテンツ提供サーバ1上のコンテンツを画面のブラウザで閲覧、利用することができる。

【0057】

本実施の形態では、利用者端末4は、コンテンツ情報データベース2を利用するための専用のハードウェアであるリモコン装置によるコンテンツ選択ユーザインターフェース5と、ディスプレイなど利用者への情報提示装置と、インターネット

トなどへアクセスするためのネットワーク手段と、後述する処理を行うソフトウェアを付加することで実現されている。

【0058】

図3は、コンテンツ選択ユーザインタフェース5の構成例1である。コンテンツ選択ユーザインタフェース5は、図3に示しように、チャンネルを選択するボタン【1】～【12】と、前回選択したチャンネルの次のチャンネルを選択するボタン【CH+】と、前のチャンネルを選択するボタン【CH-】とから構成された赤外線方式リモコン装置で実現することができる。

【0059】

本実施の形態では、テレビ放送のチャンネルと対応させたコンテンツを提供する用途を考慮し、通常のテレビ受信機のリモコン装置に備わっているボタンを模している。コンテンツ選択ユーザインタフェース5は、利用者によって押されたボタン情報（操作指令検知（1））を利用者端末4に赤外線パルス信号によって伝える。

【0060】

このように、本実施の形態によるシステムを利用するためのコンテンツ選択ユーザインタフェース5を、一般の利用者が使い慣れたリモコン装置と同じ形式で構成するので、後述するようにテレビのチャンネルを切り替えるのと同等の感覚で、コンテンツが選択できるようになる。

【0061】

このコンテンツ選択ユーザインタフェース5の実現方式としては、赤外線方式リモコン装置以外にも、利用者端末4上に図3のボタンと同様の専用キーを用意したり、利用者端末4上でソフトウェアによって画面上に仮想リモコンを表示したりして実現しても良い。

【0062】

次に、以上のように構成されるコンテンツ提供システムの動作を図4～図7を用いて説明する。なお、図4は、利用者にコンテンツを提供する処理の流れを示すフローチャートである。図5～図7は、利用者端末4の画面表示の例である。

【0063】

本実施の形態によるコンテンツ提供システムのサービスを利用する利用者端末4では、予め、端末において専用ソフトウェアが起動され、コンテンツ選択ユーザインタフェース5が利用できるように設定される。同時に、図5の端末画面例のように、本システムでコンテンツの表示を行うウェブブラウザを起動する。（ステップST0）。

【0064】

次いで、利用者がコンテンツ選択ユーザインタフェース5のボタンを押すと、コンテンツ選択ユーザインタフェース5が、押されたボタンを検知し、検知されたボタンの情報を含む操作指令検知（1）を利用者端末4に送信する（ステップST1）。例えば、利用者が放送番組に対応した番組情報のコンテンツを探す時には、コンテンツ選択ユーザインタフェース5の番組の放送局のチャンネルと同じ数字のボタンを押せばよい。コンテンツ選択ユーザインタフェース5のボタンを押すたびに、本システムでは異なるコンテンツが呼び出せるようになっている。

【0065】

前記設定が行われた利用者端末4では、受け取った操作指令検知（1）から操作指令情報（2）を作成し、ネットワークを介してコンテンツ選択処理部3に送信する（ステップST2）。コンテンツ選択処理部3は、受け取った操作指令情報（2）と、同一利用者端末によって前回選択されたチャンネルと時刻発生部6から得られる現在日付時刻情報とから、コンテンツ情報データベース2を検索するための検索キー（3）を導出する（ステップST3）。

【0066】

検索キー（3）は、チャンネル情報と日付時刻情報との組み合わせで導出される。例えば、チャンネルが1～12として、前回選択されたチャンネルが「1」、現在日付時刻が「2000年10月10日10:00」の場合、図6に示すようにボタン【1】が押された場合には、コンテンツ選択処理部3では、チャンネル1が選択されたと解釈し、「チャンネル1、日付時刻2000年10月10日10:00」なる検索キー（3）が導出される。

【0067】

また、ボタン【CH+】が押されたという操作指令情報（2）が送られてきた場合には、コンテンツ選択処理部3では、前回指定された次のチャンネルを選択すると解釈し、「チャンネル2、日付時刻2000年10月10日10:00」が検索キー（3）として導出される。

【0068】

ここで、前回指定されたチャンネルなど前回選択された状態をここで利用するには、前回指定されたチャンネルや時刻などの状態を、利用者端末4のブラウザによるcookieに記憶させたり、コンテンツ選択処理部3が、例えばIPアドレスなどで個々の利用者端末4を識別して端末毎に保存するなどの手法を使うことができる。

【0069】

コンテンツ選択処理部3は、このようにして導出された検索キー（3）によってコンテンツ情報データベース2を検索し、該当するコンテンツ情報（4）を取得し（ステップST4）、それをコンテンツ情報（5）としてネットワークを介して利用者端末4に返信する（ステップST5）。

【0070】

利用者端末4では、例えば図6に示すように、受け取った1チャンネルのコンテンツ情報のうち、コンテンツ案内情報「10/10（金）（放送局名）、13:00～（番組名）」をブラウザを通して利用者に提示する（ステップST6）。【CH+】ボタンが押された場合には、前回選択したチャンネルの次のチャンネルのコンテンツ案内情報が同様にブラウザ上に表示される。

【0071】

さらに、利用者端末4では、コンテンツ情報からURL形式のコンテンツ所在情報を抽出し、それに基づきコンテンツ取得要求（6）を作成してネットワーク上のコンテンツ提供サーバ1に送る。そして、コンテンツ提供サーバ1からそのURLに示されるネットワーク上の場所にあるウェブコンテンツを取得すると（コンテンツ取得（7））、そのウェブコンテンツを図7に示すように利用者に提示する（ステップST7）。利用者がコンテンツ選択ユーザインターフェース5でさらにボタンを押せば、ステップST1からのステップを繰り返す。

【0072】

このように、利用者がコンテンツ選択ユーザインタフェース5で異なった操作をするたびに、該当するコンテンツの所在情報をコンテンツ情報データベース2から取り出し、その所在情報によってコンテンツを取得することができるようになっている。

【0073】

なお、このステップの処理は、ステップST6のコンテンツ案内情報をブラウザに表示する際に、コンテンツ案内情報のデータ列の中にブラウザの動作と、一定時間後にコンテンツ所在情報の示すURLで示されるコンテンツに切り替える処理とを記述したjavascripなどのプログラムを挿入しておくことで簡単に実現できる。

【0074】

本実施の形態のシステムでは、例えばテレビ番組に対応した番組情報などのコンテンツをネットワーク上で提供する場合、テレビのチャンネルと同じ番号のチャンネルと放送番組の放送時間に合わせた提供時間とでコンテンツが提供できるように、コンテンツ情報データベース2にコンテンツの所在情報を登録しているので、テレビ番組が放送中にその番組に対応したコンテンツを取得するには、コンテンツ選択ユーザインタフェース5でその番組と同じチャンネルのボタンを押すだけで良い。

【0075】

このチャンネル選択操作は、テレビジョン受信機のリモコン操作とほぼ同等の感覚で使える操作であり、利用者にとって非常にわかりやすく、迅速にコンテンツ取得のできるユーザインタフェースとなる。その結果、利用者は手間少なく、気軽にコンテンツが選択できるため、コンテンツの利用数が増えることが期待される。

【0076】

今の例では、チャンネルを番号で表しているが、代わりに放送局名などをチャンネルを表す記述として使っても良い。その場合、複数の放送局間に、なんらかの順序列が定義されていれば、[CH+] [CH-] のボタンを、次の放送局、

前の放送局のような相対的なチャンネル指定に使用することができる。

【0077】

また、図8は、コンテンツ選択ユーザインタフェース5の構成例2である。図8に示すように、コンテンツ選択ユーザインタフェース5では、図3に示したチャンネルの選択ボタンに加えて、日付時刻選択のボタン「NOW」「TM+」「TM-」を追加することができる。時刻の選択できる単位を例えば30分として、その単位で、指定する時刻を遡ったり、進めたりする機能をインタフェースに追加すればよい。

【0078】

【NOW】は現在時刻を選択するボタン、【TM+】は前回選択した時刻の30分などシステムによって定められた一定時間後の時刻を選択するボタン、【TM-】は一定時間前の時刻を選択するボタンである。

【0079】

日付時刻選択のボタンが押された場合には、前記例において、コンテンツ選択処理部3において、検索キー(3)を導出する際に、時刻発生部6の現在時刻を用いる代わりに、前回指定された時刻と、ボタンで指定された日付時刻選択操作から、検索キーに用いる日付時刻を決定する。

【0080】

例えば、前回の選択がチャンネル1、日付時刻2000年10月10日10:00の場合、【TM+】が押された場合には、検索キーは「チャンネル1、日付時刻2000年10月10日10:30」となる。【NOW】が押された場合には、日付時刻の部分に、前回選択の日付時刻と無関係に時刻発生部6から得られる現在日付時刻が使用される。

【0081】

テレビ放送番組に対応したコンテンツを提供するシステムの場合、日付時刻選択機能を追加したコンテンツ選択ユーザインタフェース5によって、現在放送中の番組に対応したコンテンツだけでなく、前に放送していた番組に対応したコンテンツや、後に放送される番組に対応したコンテンツを簡単なリモコン操作で選択できる。これにより、利用者は、番組の放送後に追加情報や、番組の放送前の

事前情報をネットワーク上のコンテンツを簡単に選択し取得することができるようになる。

【0082】

したがって、従来ではコンテンツへのアクセスに手間がかかるため、あまり多くの利用者に利用されていなかった放送連動型のコンテンツが、本実施の形態によるシステムによれば、コンテンツの利用者数を大幅に増加させることが期待される。

【0083】

次に、図2を用いて上記コンテンツ提供手法で用いられるコンテンツ情報をコンテンツ情報データベース2に格納する手法について説明する。

【0084】

コンテンツ情報データベース2には、前記の通り、チャンネルと、開始日付・時刻から終了日付・時刻までとして定義される提供時間との組に対して、コンテンツ情報が格納される。図2では、各チャンネルについて、コンテンツ情報が登録されている時間帯を示している。

【0085】

ここで、チャンネルと提供時間とで定義されるコンテンツ情報データベース2中の空間を、後述の説明のため、コンテンツ情報登録空間と呼ぶこととする。情報提供者は、このコンテンツ情報登録空間を申し込みによって確保する。これにより、情報提供者は、このコンテンツ情報登録空間内にコンテンツ情報を登録する権利を得ることになる。

【0086】

コンテンツ情報データベース2内には、図2中の斜線の矩形のように、複数のコンテンツ情報登録空間が定義され、それぞれ異なるコンテンツ情報が格納される。前記コンテンツのアクセス手段により利用者は、チャンネル、時刻を指定し、それに対応するコンテンツ情報登録空間のコンテンツ情報を取得できる。コンテンツ情報の登録がないチャンネルと時刻が利用者端末4から定義された場合には、コンテンツ情報がない旨のメッセージを返すようになっている。

【0087】

以上のように本システムによるコンテンツ提供を行うためには、情報提供者は、このコンテンツ情報データベース2に対し、図2に示すようにコンテンツ情報を登録する必要がある。

【0088】

ところで、コンテンツ提供を行うためのシステムをサービス事業者が運用し、情報提供者がサービス事業者に対し、コンテンツ情報の登録を費用を支払って依頼するという事業形態をとる場合には、前記コンテンツ情報登録空間にコンテンツ情報を登録するための申し込みを行うコンテンツ情報登録システムが必要である。

【0089】

このコンテンツ情報登録システムによって情報提供を希望する場合には、情報提供者は、サービス事業者に対し、何チャンネルの、何時から何時までのコンテンツ情報登録空間にコンテンツ情報を登録する権利を取得したいと申し込みになる。その登録申し込みは、後述するコンテンツ情報登録申し込みのためのコンテンツ情報登録システム（図9参照）のコンテンツ情報登録申し込みデータベース8に格納される。

【0090】

図10は、コンテンツ情報登録申し込みデータベース8内のコンテンツ情報登録空間模式図である。この図10で示されるコンテンツ情報登録空間は、図2と同じように、チャンネルと提供時間で定義されるデータ空間である。そのデータ中に各情報提供者がコンテンツ情報を登録できるコンテンツ情報登録空間を確保することで申し込みが行われる。

【0091】

このコンテンツ情報登録申し込みデータベース8には、コンテンツ情報データベース7（図9参照）に情報を登録する場合の、登録状況（どのチャンネルをどの時間に登録したか）、登録者を識別するID情報など、コンテンツ情報を格納するデータベース空間の登録状況と、情報提供者を課金のために特定するのに必要な情報が格納される。

【0092】

《実施の形態2》

図9は、コンテンツ情報登録の申し込みを行うコンテンツ情報登録システムの構成例を示すブロック図である。

【0093】

図9において、コンテンツ情報データベース7は、図1に示したコンテンツ情報データベース2と同一のものである。

【0094】

登録者端末10は、コンテンツ情報データベース7にコンテンツ情報を登録希望する情報提供者が登録の申し込み、及びコンテンツ情報の登録を行う装置である。この登録者端末10は、ネットワークプラウザを利用できる通常のパソコン用コンピュータで構成される。登録者はネットワーク上の任意の場所に置かれた登録者端末10からコンテンツ情報登録申し込みや登録を行うことができる。

【0095】

コンテンツ情報登録処理部9は、登録者端末10からの要求（コンテンツ情報登録登録状態確認要求（1））を受け、図9に示す各データベースをアクセスし、登録申し込み処理と登録処理を行う装置であり、それらの処理をソフトウェアとして実装した計算機により構成される。

【0096】

コンテンツ情報登録申し込みデータベース8は、コンテンツ情報登録処理部9の要求に従い、コンテンツ情報の登録申し込み情報を格納するデータベースである。その内容は前述した（図10）。

【0097】

登録者データベース11は、予め登録を行う権利を持った利用者を登録者として、その名前や連絡先、課金のための銀行口座番号、登録者ID情報、パスワードなどの認証情報を格納しておくデータベースである。この登録者データベース11のシステム、データは、共に本コンテンツ情報登録システムに先立って用意され、従来と同様のシステムを流用することができる。

【0098】

登録課金処理部12は、一ヶ月毎など一定期間毎に、コンテンツ情報登録申し

込みデータベース8や登録者データベース11をアクセスすることで、登録による課金金額を計算し、登録者毎の課金のための情報を生成する処理装置であり、それらの処理をソフトウェアとして実装した計算機で構成される。

【0099】

なお、図9に示した各データベース、各処理部はネットワークを介して接続されている。

【0100】

次に、以上のように構成されるコンテンツ情報登録システムの動作を図9～図16を用いて説明する。なお、図11は、登録者がコンテンツ情報の登録申し込みを行う処理手法の流れを示すフローチャートである。図12～図15は、コンテンツ情報登録処理部9が登録者端末10に提示する登録申し込み用の画面表示例である。

【0101】

まず、登録者は、コンテンツ情報の登録を希望するコンテンツ情報登録空間を決定し、コンテンツ情報登録処理部9から登録者端末10に表示される図12に示す画面を用いて、すでにコンテンツ情報が登録申し込みされていないかの状況問合せを行う（ステップST8）。

【0102】

図12では、画面のタイトル「コンテンツ情報登録空き確認」と操作指示「チャンネルと提供時間を指定して下さい」の文言と、チャンネルの指定欄と、提供時間の指定欄と、空き状況の確認ボタンとが表示されている。

【0103】

登録者は、コンテンツ情報登録空間を、チャンネルと提供時間の開始日・時刻と終了日・時刻という形式で指定し、空き状況の確認ボタンを押すと、登録者端末10からコンテンツ情報登録処理部9に対し、コンテンツ情報登録状態確認要求（1）が送られる。

【0104】

コンテンツ情報登録処理部9は、ステップST8での問合せを受けて、コンテンツ情報登録申し込みデータベース8に対し指定されたコンテンツ情報登録空間

が登録申し込み済みか否かを検索し、検索結果であるコンテンツ情報登録状態情報（2）を登録者端末10へ返送し提示する（ステップST9）。

【0105】

登録者端末10では、図13または図14の画面が表示されるので、登録者は、その内容から登録済みが否かを判断する（ステップST10）。

【0106】

図13は、提示されたコンテンツ情報登録空間が登録済みであった場合の表示例である。図13では、画面のタイトル「コンテンツ情報登録空き状況確認結果」と、検索結果と対応策「指定のチャンネル、提供時間はすでに空いていません。空き状況確認画面で別のチャンネル、提供時間を指定して下さい。」と、空き状況の確認ページへ戻るボタンとが表示されている。

【0107】

登録者は、このような図13の画面を見て、登録できないと判断し、別のコンテンツ情報登録空間の指定を行うために空き状況の確認ページへ戻るボタンを押すと、図12に示す画面が表示されるので、別のコンテンツ情報登録空間の登録状態の確認処理（ステップST8）を行うことができる。

【0108】

図14は、提示されたコンテンツ情報登録空間が登録済みでなかった場合の表示例である。図14では、画面のタイトル「コンテンツ情報登録申し込み」と、検索結果「ご指定のチャンネル、提供時間は申し込みできます。」と、申し込みできるチャンネル「1チャンネル」及び提供時間「2000年10月1日10時00分から2000年10月1日11時00分まで」と、「登録者IDを入力し込んで下さい」の文言と共に登録者IDの記入枠と申し込むボタンとが表示されている。登録者IDは、登録者認証のための識別情報である。

【0109】

さらに、図14の画面下部では、「以下に入力すると申し込みと同時にコンテンツ情報を登録できます」の文言と、「登録するコンテンツ情報」の文言とその内容であるタイトル、URLのためのラベル及びURLの記入枠とが表示されている。タイトルとURLのためのラベルは、コンテンツ案内情報であり、URL

はコンテンツ所在情報である。

【0110】

登録者は、このような図14の画面を見て登録可能と判断すると、この図14の画面から、指定したコンテンツ情報登録空間に対し、コンテンツ情報登録の申し込みを行う（ステップST11）。

【0111】

登録者は、図14の画面で、予め登録された自分のID番号など、登録者認証を行うための登録者識別情報を入力し、申し込みのボタンを押すことで登録申し込みを行う。登録者端末10は、登録者識別情報をコンテンツ情報登録空間情報とともに、コンテンツ情報登録処理部9へ送る。

【0112】

また、図14の画面下部の欄では、指定したコンテンツ情報登録空間に登録するコンテンツ情報を同時に入力することができる。ここで、コンテンツ情報の入力を行わない場合は、この処理フローでは情報提供者の登録のみを行い、コンテンツ情報の登録は後述する別の処理フロー（図17）で行う。

【0113】

コンテンツ情報登録処理部9は、ステップST11で入力された登録者識別情報を受け取り、その登録者が予め登録許可されているか否かを、登録者認証問合せ（4）により登録者データベース11に問合せする（ステップST12）。

【0114】

コンテンツ情報登録処理部9は、登録者データベース11への問合せ結果（登録者認証（5））によって登録者の登録を許可するか否かを判断する（ステップST13）。登録者の登録を拒否する場合には、図16の画面を登録者端末10に返し、登録申し込みを許可する場合はステップST14へ進む。

【0115】

図16の画面では、画面のタイトル「コンテンツ情報登録申し込み結果」と、申し込みを拒否する旨及び対応策「コンテンツ情報の登録申し込みはできません。×××まで問合せて下さい。」と、空き状況の確認ページへ戻るボタンととが表示されている。

【0116】

登録者が図16の画面を見て、登録できないと判断し、別のコンテンツ情報登録空間の指定を行うために空き状況の確認ページへ戻るボタンを押すと、図12に示す画面が表示されるので、別のコンテンツ情報登録空間の登録状態の確認処理（ステップST8）を行うことができる。

【0117】

一方、コンテンツ情報登録処理部9は、登録申し込みを許可する場合には、指定されたコンテンツ情報登録空間の情報と登録者のID番号を組みにして、コンテンツ情報登録申し込みデータベース8に登録する（ステップST14）。

【0118】

さらに、コンテンツ情報登録処理部9は、図14の画面において、コンテンツ情報の入力が行われていたか否かを判断する（ステップST15）。そして、コンテンツ情報の入力が行われていなかった場合には、図15の画面に示すように登録申し込み処理が行われた旨のメッセージを提示し、コンテンツ情報登録申し込み処理を終了するが、コンテンツ情報の入力が行われていた場合には、ステップST16へ進む。

【0119】

即ち、ステップST16では、コンテンツ情報登録処理部9は、コンテンツ情報の入力が申し込みと同時に行われた場合には、入力されたコンテンツ情報をコンテンツ情報データベース7へ登録し、その後図15の画面に示すように登録処理が行われた旨のメッセージを提示し、コンテンツ情報登録申し込み処理を終了する。

【0120】

次に、以上の動作により登録者がすでに申し込み済みのコンテンツ情報登録空間を持っている場合に、コンテンツ情報をコンテンツ情報データベース7へ登録する動作を図17～図24を用いて説明する。なお、図17は、コンテンツ情報をコンテンツ情報データベース7へ登録する処理の流れを示すフローチャートである。図18～図24は、コンテンツ情報登録処理部9が登録者端末10に提示するコンテンツ情報登録用の画面表示例である。

【0121】

まず、コンテンツ情報登録処理部9は、登録者端末10からの要求に応じて登録者端末10に図18に示すようなコンテンツ情報登録用の画面を提示し、登録者IDの入力を待機する。図18では、タイトル「コンテンツ情報登録」と、「登録IDを入力して下さい」の文言及び登録者IDの記入枠とが表示されている。登録者は、この図18に示す画面で、自らの登録者IDを入力する（ステップST17）。

【0122】

コンテンツ情報登録処理部9は、入力された登録者IDの認証を行うために登録者データベース11に登録者認証問合せ（4）を送り（ステップST18）、登録者データベース11から送られてくる登録者認証（5）によって登録を許可するか否かを判断する（ステップST19）。

【0123】

コンテンツ情報登録処理部9は、登録不可の場合は図23の画面を提示して処理を終了するが、登録を許可する場合には、次のステップステップST20に進む。図23では、タイトル「コンテンツ情報登録結果」と、登録を拒否する内容と対応策「コンテンツ情報の登録はできません。××××までお問合せください。」とが表示されている。

【0124】

コンテンツ情報登録処理部9は、登録を許可する場合には、コンテンツ情報登録申し込みデータベース8を検索し（ステップST20）、入力された登録者IDで行われた申し込みの有無を判断する（ステップST21）。

【0125】

申し込みがまだ行われていない場合は、図24の画面を登録者端末10に提示し処理を終了する。図24では、タイトル「コンテンツ情報登録結果」と、登録を拒否する内容と対応策「コンテンツ情報の登録の申し込みがされていません。まず、登録の申し込みを行ってください。」とが表示されている。

【0126】

既に申し込みがなされている場合には、ステップST20によって検索された

登録者IDで申し込まれたコンテンツ情報登録空間を、図19に示す画面により登録者に提示し選択操作を待つ（ステップST22）。図19では、タイトル「コンテンツ情報登録」と、登録者ID「××××」と、「以下が申し込み済みです。」の文言と、すでに登録者によって登録済みの複数のコンテンツ情報空間のリストと、登録画面へボタンとが表示されている。

【0127】

登録者が、この図19に示す画面で、登録済みの複数のコンテンツ情報空間のリストの中の1つを選択し、登録画面へボタンを押すと、コンテンツ情報登録処理部9は、図20の登録画面を登録者端末10に提示し、コンテンツ登録要求の入力を待つ（ステップST23）。

【0128】

図20では、タイトル「コンテンツ情報登録」と、登録者ID「××××」と、「以下の範囲内で登録できます。」の文言と、登録できるチャンネル「1チャンネル」と、提供時間「2000年10月2日10時00分から2000年10月2日11時00分」と、コンテンツ情報を登録できる時間範囲の記入枠と、「登録するコンテンツ情報」の文言とその内容であるタイトル、URLのためのラベル及びURLの記入枠と、登録ボタンとが表示されている。タイトルとURLのためのラベルは、コンテンツ案内情報であり、URLはコンテンツ所在情報である。

【0129】

図20の登録画面において、提供時間「2000年10月2日10時00分から2000年10月2日11時00分」は、ステップST22における図19の選択画面で選択した情報登録空間である。

【0130】

そこで、登録者は、この図20の登録画面において、コンテンツ情報を登録できる時間範囲の記入枠で、提供時間「2000年10月2日10時00分から2000年10月2日11時00分」の範囲内に含まれる時間範囲を指定し、提供するコンテンツ情報を画面下部で入力し、登録ボタンを押すことで、コンテンツ情報データベース7へのコンテンツ情報登録を要求することができる（ステッ

プST23)。

【0131】

コンテンツ情報登録処理部9は、ステップST23において入力された時間範囲が、ステップST22で選択されたコンテンツ情報登録空間の範囲に含まれるかどうかを判断し(ステップST24)、範囲内でない場合には、登録者端末10に図22に示す画面を提示する(ステップST25)。

【0132】

図22では、タイトル「コンテンツ情報登録結果」と、再度の入力操作を促す「指定した時間範囲が申し込み時の時間範囲を越えています。再度、入力してください。」の文言と、コンテンツ情報登録画面へボタンとが表示されている。

【0133】

登録者が、この図22の画面を見てコンテンツ情報登録画面へボタンを押すと、コンテンツ情報登録処理部9は、図20の登録画面を再び提示してステップST23に戻る。一方、コンテンツ情報登録処理部9は、ステップST23において入力された時間範囲が、ステップST22で選択されたコンテンツ情報登録空間の範囲に含まれる場合には、ステップST26に進む。

【0134】

ステップST26では、コンテンツ情報登録処理部9は、指定されたチャンネル、及び、指定された提供時間に対するコンテンツ情報として、図20で入力された情報をコンテンツ情報データベース7へ登録し、図21に示す画面を表示して処理を終了する。図21では、タイトル「コンテンツ情報登録結果」と、「コンテンツ情報の登録が行われました」の文言が表示されている。

【0135】

ここで、図9に示したコンテンツ情報登録システムは、コンテンツ情報という、従来のコンテンツ提供サーバで提供されるコンテンツとは別の情報を構成するためのものである。

【0136】

本実施の形態では、従来のコンテンツとそのウェブサーバによる提供方式はそのまま利用し、それに加える形で図9に示したコンテンツ情報登録システムでコ

ンテンツ情報データベースを生成し、図1に示したコンテンツ提供システムで利用者へ新しく利用しやすいアクセス手段を提供する。

【0137】

このため、従来のインターネットによるコンテンツ提供はそのまま継続し、本実施の形態によるシステムを追加することで、コンテンツに対する利用者を増加させることができる。

【0138】

《実施の形態3》

上記したコンテンツ情報登録システムでは、コンテンツ情報を登録する情報提供者に対して、図25に示すようにして課金を行う事業を行うことができる。なお、図25は、コンテンツ情報の登録による課金を決定するための処理の流れを示すフローチャートである。この処理フローでは、図11、図17の処理とは別に、一ヶ月おきなどの期間毎に課金を行うことが示されている。

【0139】

まず、登録課金処理部12が、課金対象登録者問合わせ(11)によりコンテンツ情報登録申し込みデータベース8を検索し、登録された提供期間が課金を行う期間に含まれる登録申し込みを課金対象登録者登録情報(12)として抽出する(ステップST27)。

【0140】

次に、登録課金処理部12は、抽出された個々の課金対象登録に対して、登録者IDを抽出し、その登録者IDを含む登録者情報要求(13)により登録者データベース11を検索し、課金額の決定に必要な、登録者が選択している課金方式など登録者情報(14)を抽出する(ステップST28)。

【0141】

次に、登録課金処理部12は、ステップST27とステップST28で抽出された情報から、登録者あたりの課金額を、登録申し込みをしているチャンネル、提供時間、登録者の選択した課金方式から計算する(ステップST29)。

【0142】

課金の計算方式としては、例えば、1チャンネルあたり、30分単位のコンテ

ンツ情報空間登録料を、朝9:00～12:00は〇〇〇〇円、昼12:00～16:00△△△△円といった時間帯によって区別した単位から、登録者が登録申し込みを行った、すべての課金計算対象月のコンテンツ情報空間にかかる課金額を計算するなどといったことができる。

【0143】

登録課金処理部12は、最後に課金データを印刷物や、他の課金の決済システムに出力する（ステップST30）。

【0144】

前記のような方法で、本実施の形態によるコンテンツ情報登録システムを運営するサービス事業者は、コンテンツ情報登録空間を、チャンネル及び時間毎にコンテンツ情報の登録料という形で販売することが可能になる。

【0145】

また、従来のインターネット上の広告手法では、ウェブページ上にバナーを貼り付けるといった、ページ上の場所を販売する形式が一般に用いられているが、本実施の形態によるコンテンツ提供方式では、本実施の形態による使いやすいコンテンツ選択ユーザインタフェースから簡単に呼び出せる、チャンネル上の時間的な場所を販売するという形式をとっている。これは、放送事業における放送番組枠といった考え方と非常に親和性が高いので、放送番組と時間的に連動した効果的な広告スペース販売が行えることになる。

【0146】

一方、コンテンツ提供者は、前記サービス事業者に対しコンテンツ情報の登録料を払って、コンテンツ情報を登録することで、ある時間に連動してウェブコンテンツを一般の利用者に見てもらいたい場合に、本サービスシステムを利用して利用者を集めることができる。

【0147】

したがって、本実施の形態によるシステムは、放送番組に時間的に連動した番組情報や広告情報、時間によって変わるイベントに連動したインターネットイベントなど広い範囲の用途に適用できる。

【0148】

【発明の効果】

以上説明したように、本発明によれば、放送番組のように時刻に合わせて提供される情報やイベントに関連して付加的な情報などをネットワーク上のコンテンツとして提供する場合に、利用者が利用者端末を通して迅速にコンテンツが利用できるようにするそのコンテンツへのアクセス手段を提供することができるので、このアクセス手段を用いたコンテンツについて利用者を増加させることができ。また、コンテンツの利用による課金収入やコンテンツ上の広告効果を大きくすることができ、また迅速にコンテンツを利用できるアクセス手段を提供する新しいネットワークサービスを構築できるようになる。

【図面の簡単な説明】

【図1】

本発明の実施の形態1によるコンテンツ提供システムの構成例を示すブロック図である。

【図2】

コンテンツ情報データベース内のコンテンツ情報登録空間模式図である。

【図3】

コンテンツ選択ユーザインタフェースの構成例1である。

【図4】

利用者にコンテンツを提供する処理の流れを示すフローチャートである。

【図5】

利用者端末の画面表示の例である（立ち上げ時のプラウザ画面）。

【図6】

利用者端末の画面表示の例である（コンテンツ案内情報の表示例）。

【図7】

利用者端末の画面表示の例である（ウェブコンテンツの表示例）。

【図8】

コンテンツ選択ユーザインタフェースの構成例2である。

【図9】

本発明の実施の形態1によるコンテンツ情報登録の申し込みを行うコンテンツ

情報登録システムの構成例を示すブロック図である。

【図10】

コンテンツ情報登録申し込みデータベース内のコンテンツ情報登録空間模式図である。

【図11】

登録者がコンテンツ情報の登録申し込みを行う処理手法の流れを示すフローチャートである。

【図12】

コンテンツ情報登録処理部が登録者端末に提示する登録申し込み用の画面表示例である（コンテンツ情報登録空き状況問合せ入力画面）。

【図13】

コンテンツ情報登録処理部が登録者端末に提示する登録申し込み用の画面表示例である（コンテンツ情報登録空間が登録済みであった場合のコンテンツ情報登録空き状況確認結果通知画面）。

【図14】

コンテンツ情報登録処理部が登録者端末に提示する登録申し込み用の画面表示例である（コンテンツ情報登録空間が登録済みでなかった場合のコンテンツ情報登録申し込み画面）。

【図15】

コンテンツ情報登録処理部が登録者端末に提示する登録申し込み用の画面表示例である（登録を許可する場合のコンテンツ情報登録申し込み結果通知画面）。

【図16】

コンテンツ情報登録処理部が登録者端末に提示する登録申し込み用の画面表示例である（登録を許可しない場合のコンテンツ情報登録申し込み結果通知画面）。

【図17】

登録申し込み済みの場合におけるコンテンツ情報登録処理の流れを示すフローチャートである。

【図18】

コンテンツ情報登録処理部が登録者端末に提示するコンテンツ情報登録用の画面表示例である（登録者IDの入力を勧誘する画面）。

【図19】

コンテンツ情報登録処理部が登録者端末に提示するコンテンツ情報登録用の画面表示例である（登録済みのコンテンツ情報登録空間を列挙表示し選択を勧誘する画面）。

【図20】

コンテンツ情報登録処理部が登録者端末に提示するコンテンツ情報登録用の画面表示例である（選択したコンテンツ情報の登録手続を行う画面）。

【図21】

コンテンツ情報登録処理部が登録者端末に提示するコンテンツ情報登録結果を通知する画面表示例である（コンテンツ情報の登録が行われた場合の画面）。

【図22】

コンテンツ情報登録処理部が登録者端末に提示するコンテンツ情報登録結果を通知する画面表示例である（選択したコンテンツ情報の指定範囲が不適切であった場合の画面）。

【図23】

コンテンツ情報登録処理部が登録者端末に提示するコンテンツ情報登録結果を通知する画面表示例である（登録者IDが一致しない者に対する画面）。

【図24】

コンテンツ情報登録処理部が登録者端末に提示するコンテンツ情報登録結果を通知する画面表示例である（コンテンツ情報登録空間の申し込みをしていない者に対する画面）。

【図25】

課金の処理フローチャートである。

【図26】

従来においてインターネットにおけるウェブページコンテンツへのアクセス手順を示す構造図である。

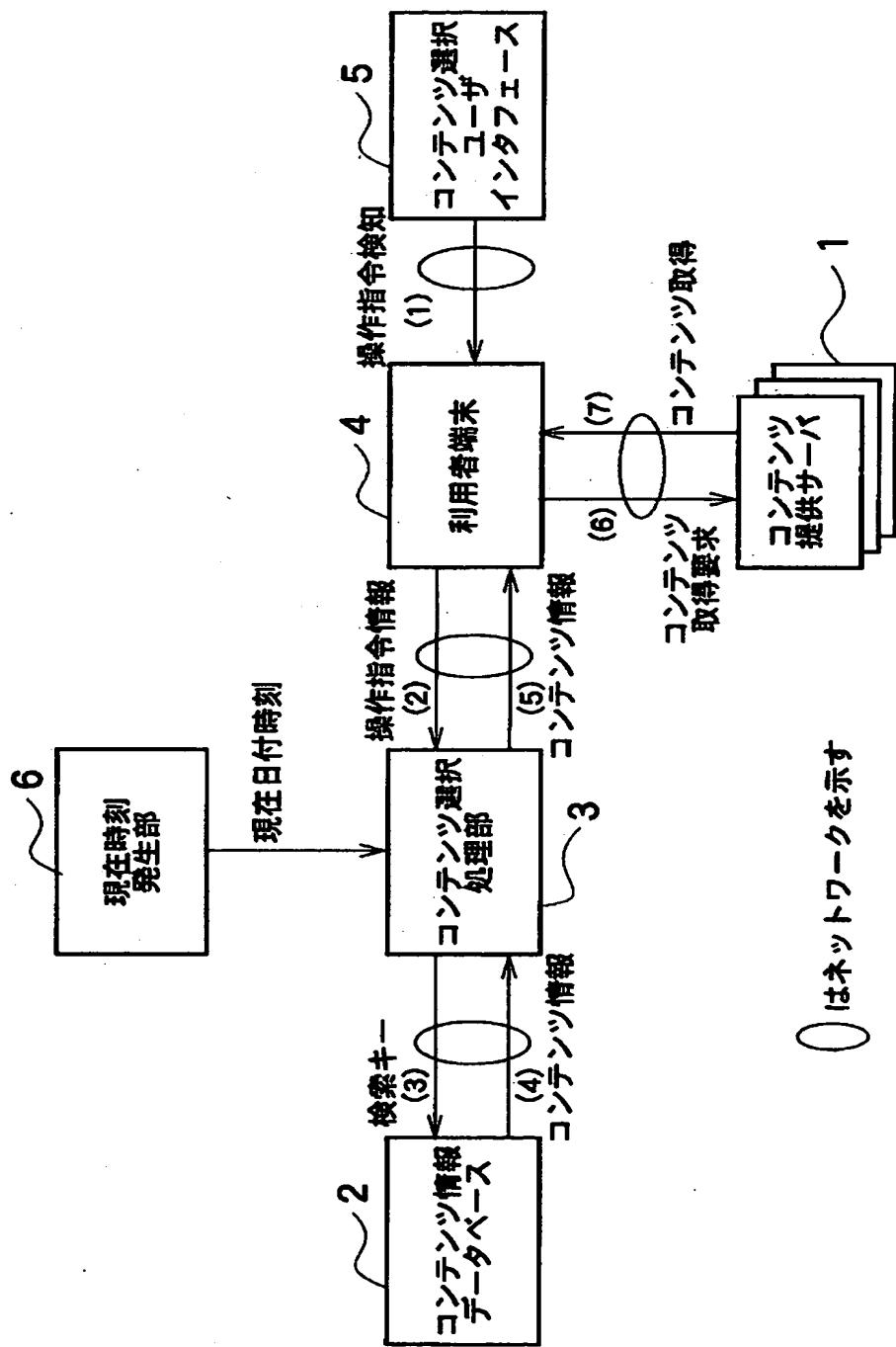
【符号の説明】

- 1 コンテンツ提供サーバ
- 2、7 コンテンツ情報データベース
- 3 コンテンツ選択処理部（コンテンツ選択処理装置）
- 4 利用者端末
- 5 コンテンツ選択ユーザインタフェース
- 6 現在時刻発生部
- 8 コンテンツ情報登録申し込みデータベース
- 9 コンテンツ情報登録処理部
- 10 登録者端末
- 11 登録者データベース
- 12 登録課金処理部

【書類名】

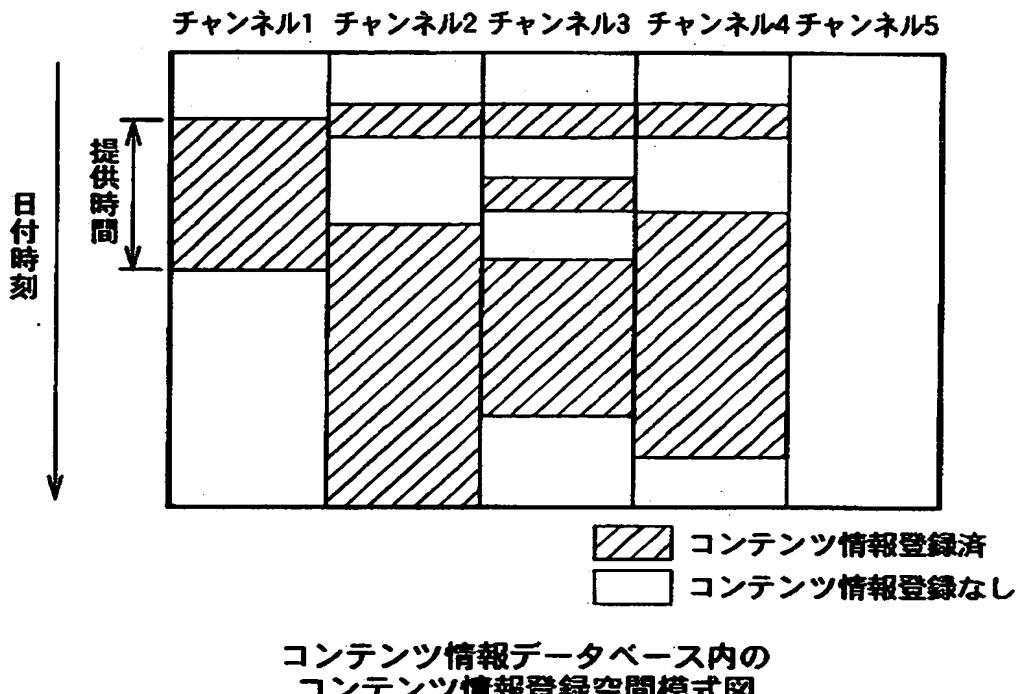
図面

【図1】

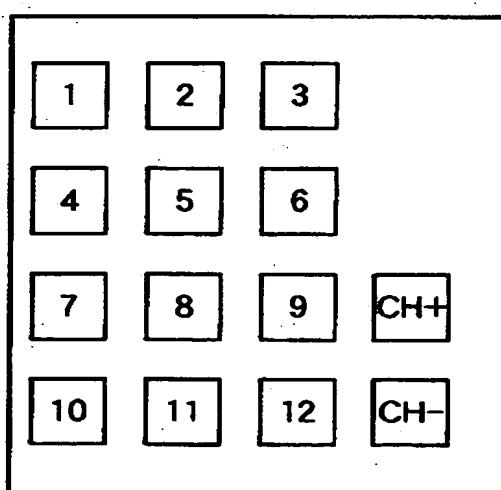


コンテンツ情報提供システム

【図2】

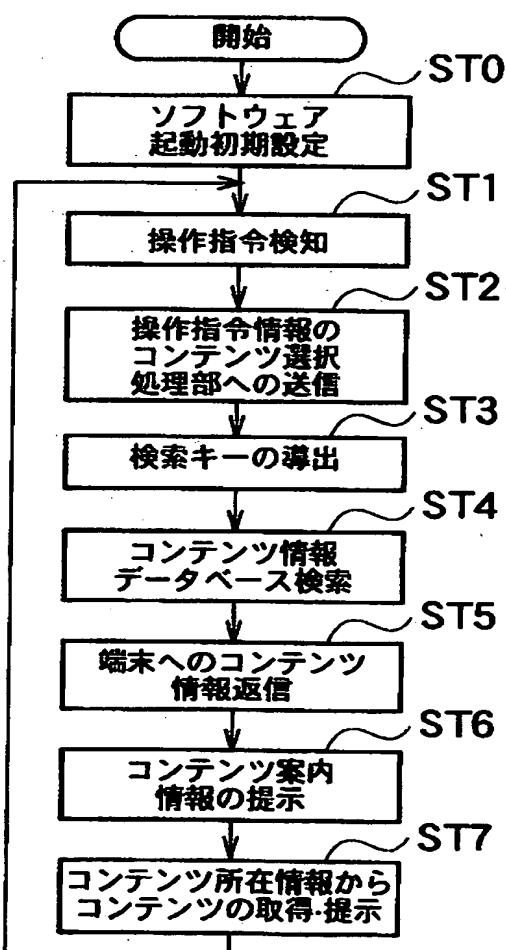


【図3】



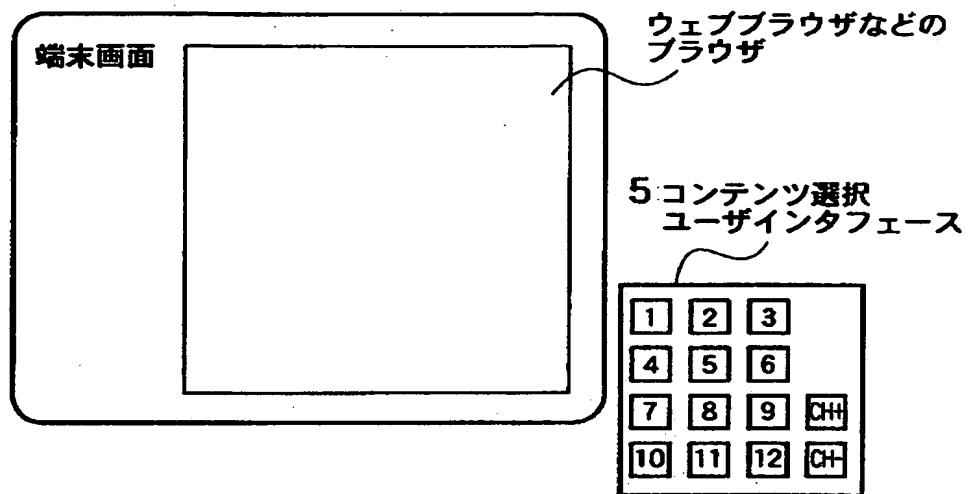
コンテンツ選択ユーザ
インターフェースボタン構成例1

【図4】

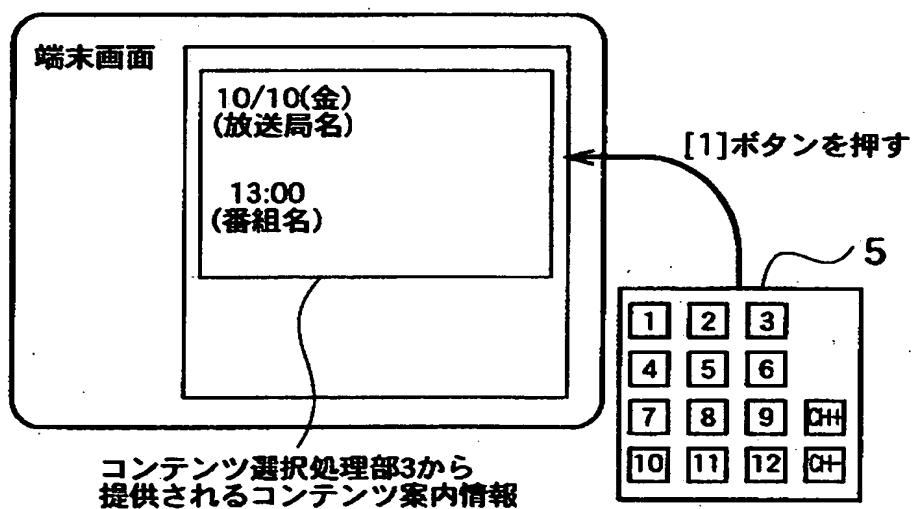


コンテンツ提供サービスの処理フロー

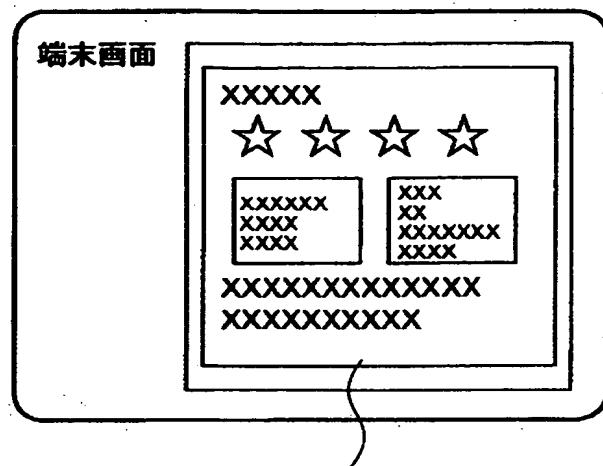
【図5】



【図6】

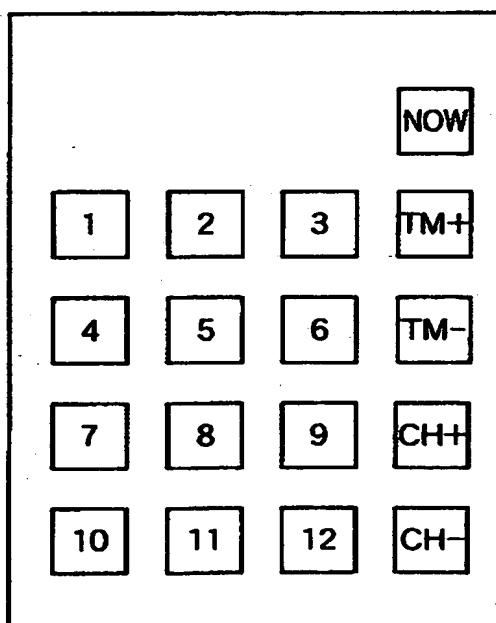


【図7】



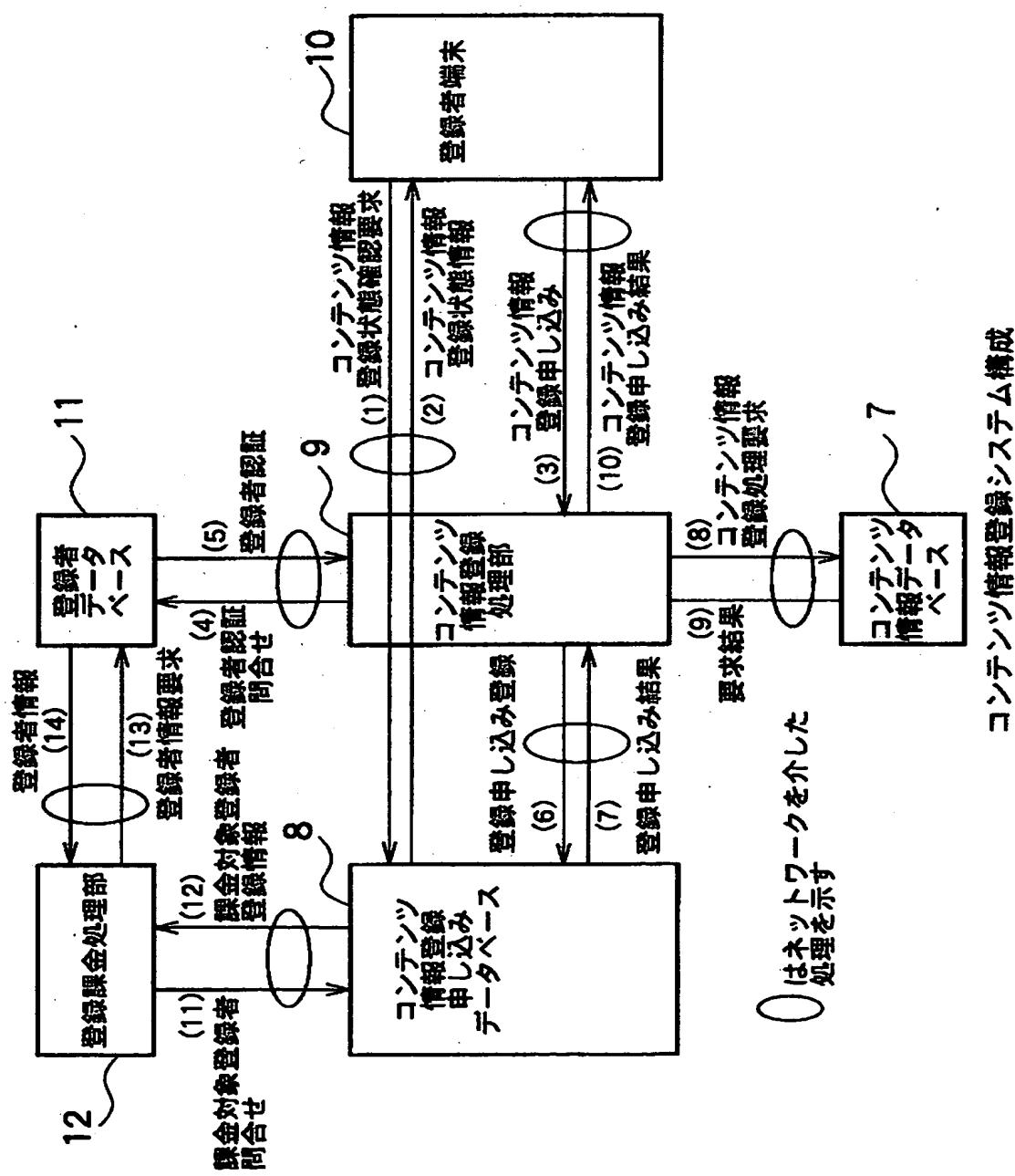
コンテンツ提供サーバ1から
提供されるウェブコンテンツ

【図8】

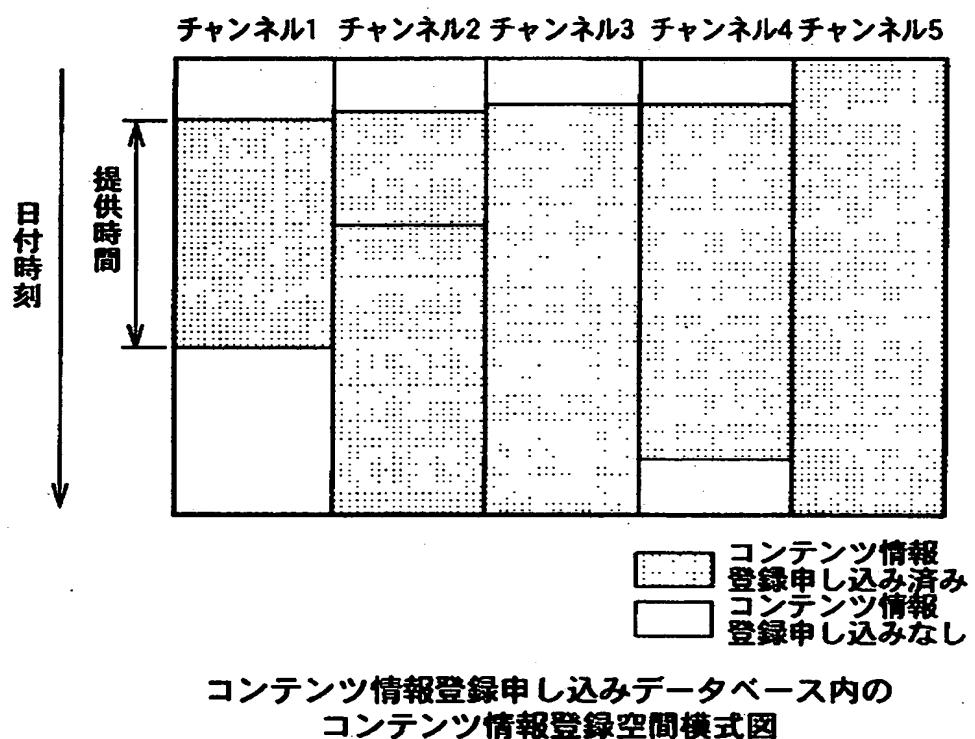


コンテンツ選択ユーザ
インターフェースボタン構成例2

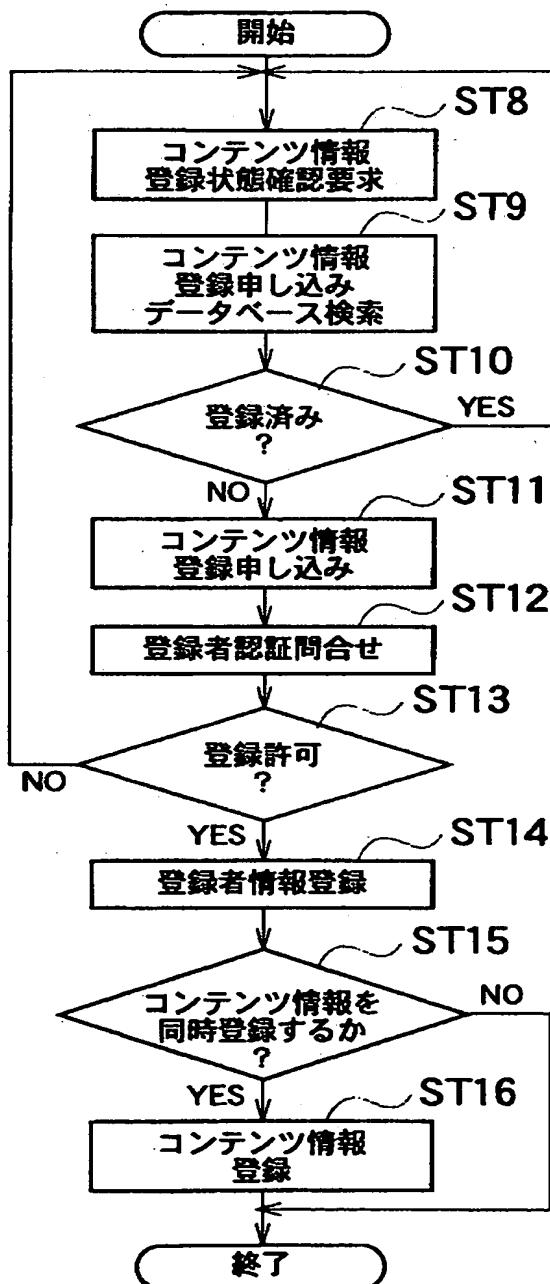
【図9】



【図10】



【図11】



コンテンツ情報登録
申し込みのための処理フロー

【図12】

コンテンツ情報登録
空き状況確認

チャンネルと提供時間を指定してください

チャンネル	<input type="text"/> チャンネル	チャンネルの指定欄
提供時間	<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 から <input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 まで	提供時間の指定欄

【図13】

コンテンツ情報登録
空き状況確認結果

指定のチャンネル、提供時間はすでに空いていません。空き状況確認画面で別のチャンネル、提供時間を指定してください。

【図14】

コンテンツ情報登録申し込み

ご指定のチャンネル、提供時間は申し込みできます。

チャンネル	1 チャンネル
提供時間	2000年10月1日10時00分 から 2000年10月1日11時00分 まで

登録者IDを入力し申し込んでください

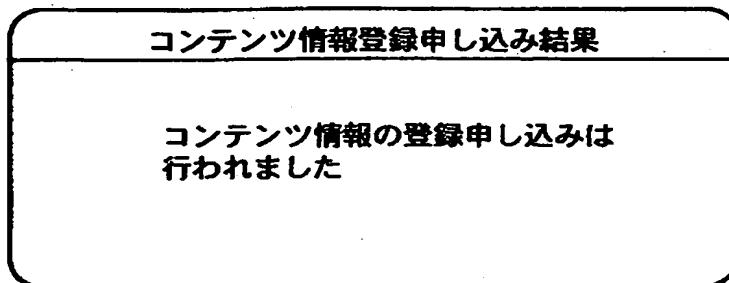
登録者ID **申し込む**

以下に入力すると申し込みと同時に
コンテンツ情報を登録できます

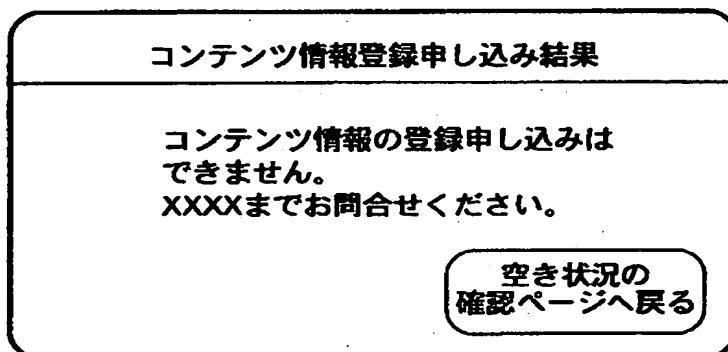
登録するコンテンツ情報

タイトル	<input type="text"/>	コンテンツ 案内情報
URLのためのラベル	<input type="text"/>	コンテンツ 所在情報
URL	<input type="text"/>	

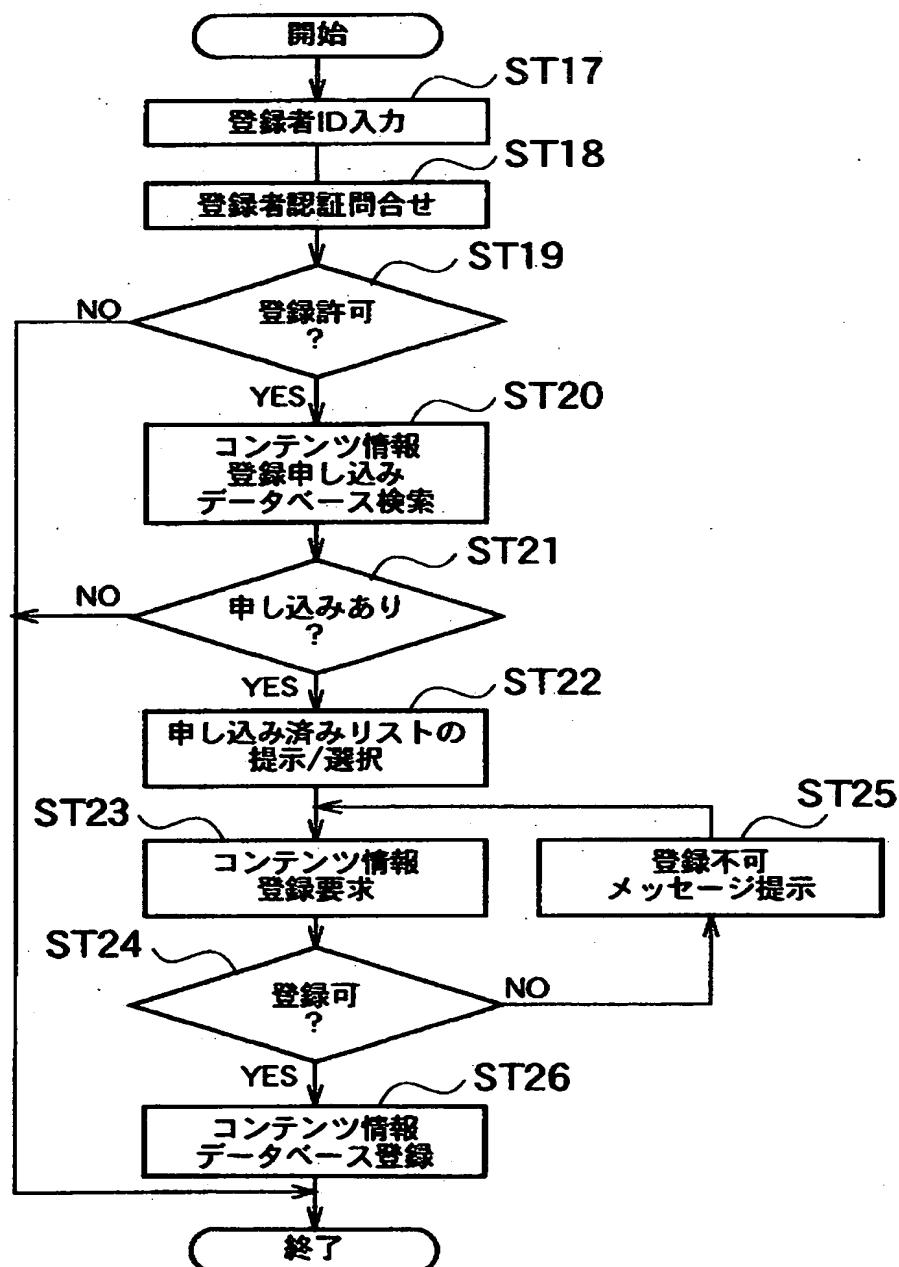
【図15】



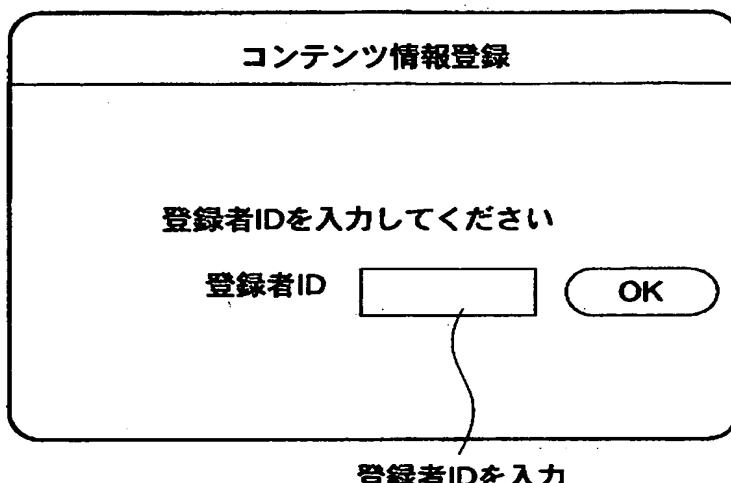
【図16】



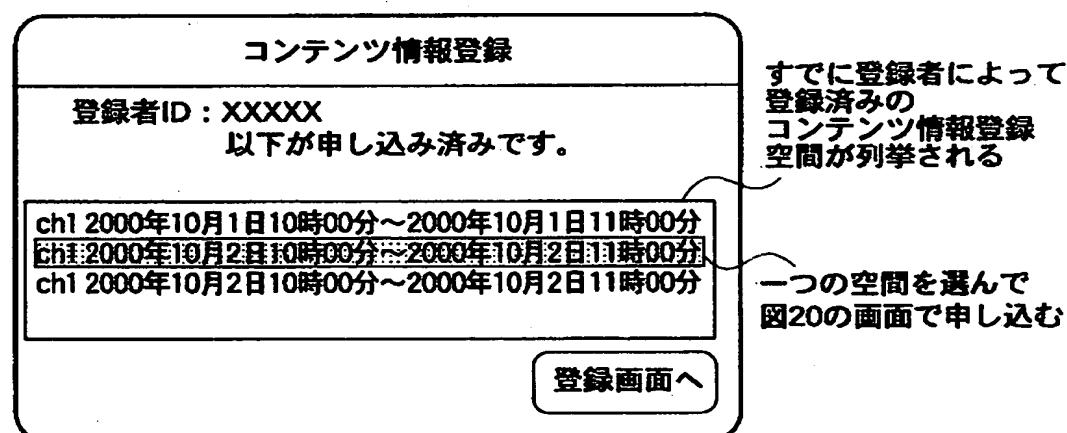
【図17】

コンテンツ情報登録処理フロー
(申し込み済みの場合)

【図18】



【図19】



【図20】

コンテンツ情報登録

登録者ID : XXXXXX 以下の範囲内で登録できます。

チャンネル	1 チャンネル
提供時間	2000年10月2日10時00分 から 2000年10月2日11時00分 まで

コンテンツ情報を登録する時間範囲

提供時間	□年□月□日□時□分 から □年□月□日□時□分 まで
------	--------------------------------

登録するコンテンツ情報

タイトル

URLのためのラベル

URL

登録

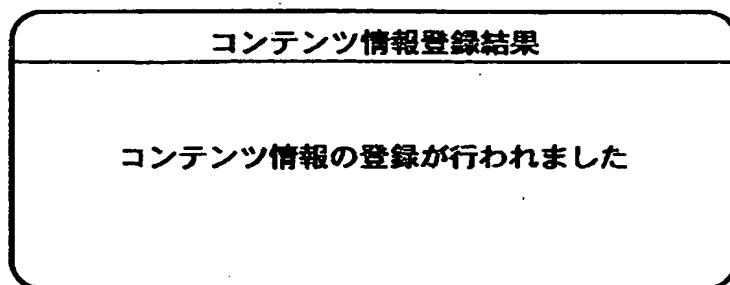
下のコンテンツ情報の
提供時間を上記時間の
範囲内で入力

コンテンツ
案内情報

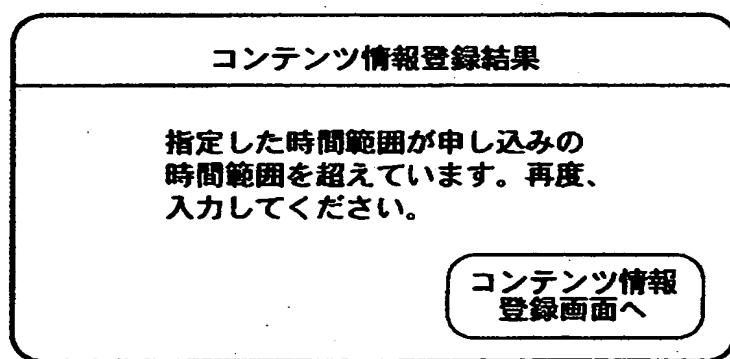
コンテンツ
案内情報

コンテンツ
所在情報

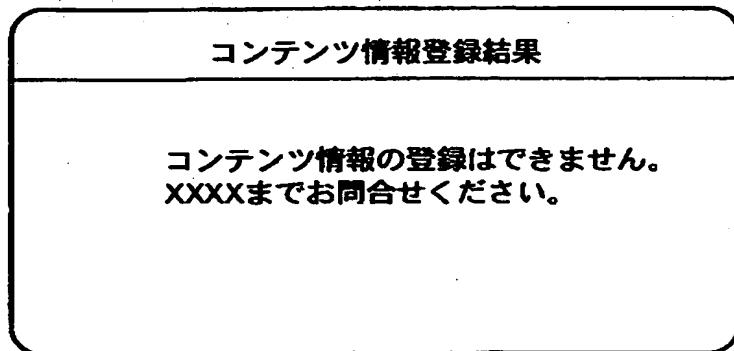
【図21】



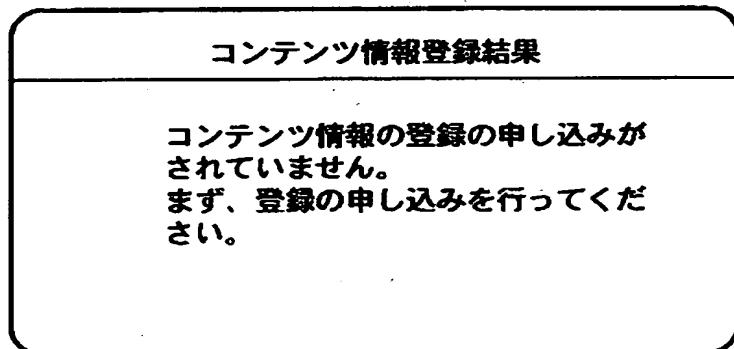
【図22】



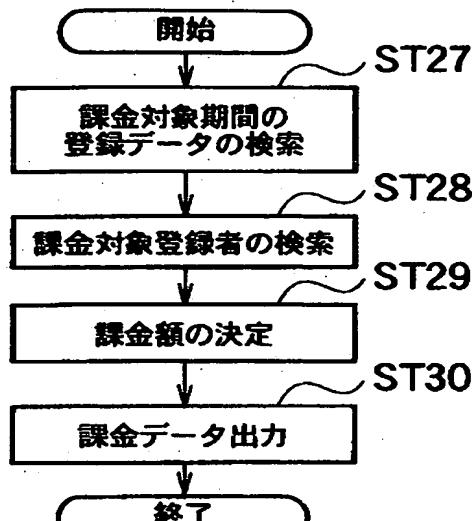
【図23】



【図24】

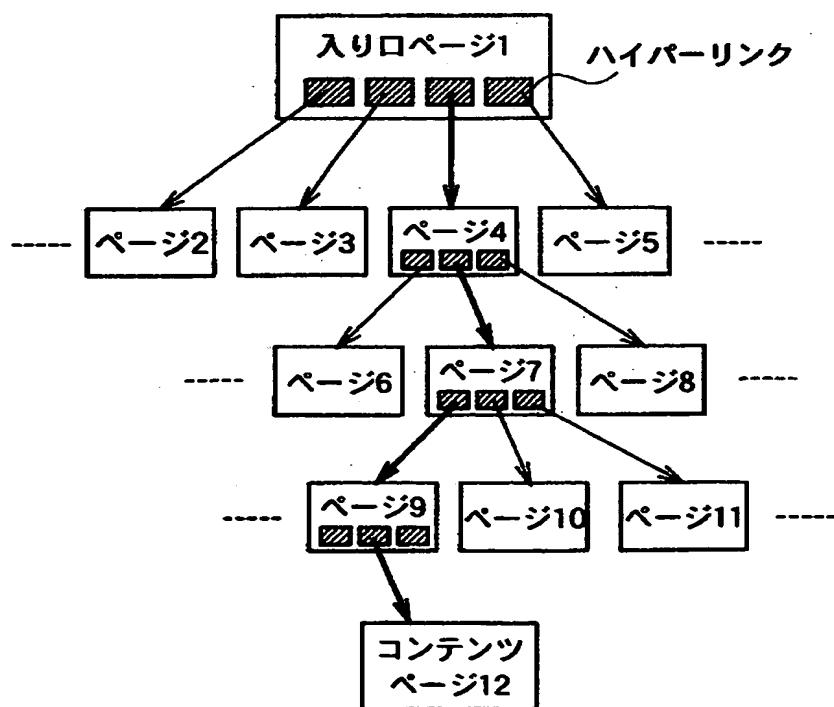


【図25】



課金のための処理フロー

【図26】

インターネットにおけるウェブページコンテンツへの
アクセス手順を示す構造図

【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 放送番組のように時刻に合わせて提供される情報やイベントに関連して付加的な情報などをネットワーク上のコンテンツとして提供する場合に、利用者が利用者端末を通して迅速にコンテンツが利用できるようにするコンテンツ提供システムを実現する。

【解決課題】 時間的に連動したコンテンツをネットワーク上のコンテンツ提供サーバ1などに置く。利用者がコンテンツ選択ユーザインタフェース5のボタンを押した選択指示が利用者端末4を通してコンテンツ選択処理装置3に伝えられる。コンテンツ選択処理装置3はその時刻に指定されたチャンネルのコンテンツの所在情報をネットワーク上に用意したコンテンツ情報データベース2から抽出し利用者端末に結果を返信する。利用者端末はその返信を受け取ることでコンテンツの所在を知り、自動的にコンテンツを取得し利用者が閲覧できるようにする。

【選択図】 図1

出願人履歴情報

識別番号 [000004352]

1. 変更年月日 1990年 8月 8日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都渋谷区神南2丁目2番1号

氏 名 日本放送協会